消防年報

平成 26 年版



高萩市消防本部

はしがき

本書は、高萩市の現勢及び平成 26 年中の消防業務に関する諸般の事項を集録し広く 消防事情を紹介するために編集したものです。

この統計は、平成27年3月31日現在をもって作成したものですが、これによらないものについてはそれぞれ記載した年月日現在より作成しました。

平成 27 年 4 月

高萩市消防本部



消 防 人 訓

わたくしたち消防人は、消防が水火災等の災害を防ぎ、社会公共の安寧と福祉に寄与 することの甚大なことを自覚し、つぎのことを信条として一意、市民に奉仕します。

- 一 消防人は勇気を尊ぶべし
- 一 消防人は迅速を旨とすべし
- 一 消防人は責任を重んずべし
- 一 消防人は規律を正しくすべし
- 一 消防人は協同一致すべし

昭和41年6月5日制定



平成26年度 NBC災害対応訓練

(場所: AP&PP高萩事業所)

管学	立置と	$ \begin{array}{c} 1 \\ 2 \\ 3 \sim 6 \\ 7 \sim 9 \\ 10 \end{array} $
消	防総務	
	高萩市消防本部組織機構図	11
Ý	肖防本部・署の分掌事務	12
1		13
2		13
3		13 13
4 5		13 14
6		14
7		15
	(1) 職員の配置状況	15
	(2) 職員の定数及び実数	16
	(3) 消防吏員の階級及び年齢調	16
	(4) 消防吏員の勤続年数調	16
	(5) 職員技能資格取得調	17
	(6) 職員教育実施状況調(平成25年度)	18
8	3 消防相互応援協定(平成26年3月31日現在)	19
予	防	
1	火災発生の状況	20
	(1) 火災件数	20
	(2) 月別火災発生状況	20
	(3) 月別焼損状況	20
	(4) 月別種別火災発生状況	21
	(5) 曜日別火災発生状況	21
	(6) 時間帯別火災発生状況 (7) 建物焼損床面積等 (8) (1) (1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	22 22
	(8) 建物用途別被害状況	23
	(9) 建物用途別損害状況	23
	(10) 主な火災の原因	23
	(11) 損害額	24
2	2 火災の推移(過去10年間)	25
	(1) 出火件数	25
	(2) 損害額	25
3		26
4 5		28
Ü	7 月別建条帷祕文理什数	20
危) 険 物	
1	- 危険物関係申請及び届出	29
2	2	29
3		29
4	- 類別・危険物製造所等一覧表	30
警	防	
	North Section Section 1975	31
1	. 有的话動状况	31 31
	(2) 消防訓練等指導調	32
2		32
3		32

救	急救助	
1	救急取扱件数	33
2	4.5 4EV ((=) 1.44	33
3		34
4	103714 1 = DC/4 4344(C) 4 5 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	34
5	34 2 ()4 4 M M C 2 4 2 4 M M C	34
6	70 = 30 /7 / 3 3 M C / 43 C / 10 C C	34
7		35
8	7	35
9	救助出場件数状況 ************************************	35
機	械	
1		36
2	特殊器具の状況(警防・救急・救助器具) ************************************	
2		01 00
通	信	
1	消防無線局施設調べ	39
2	Pro to the control of	40
気	象	
1		41
2	74 /44111 = 1 (a 1 h/4 / h/4	41
3	74 /44 E 1/M/4	42
4	月別天候調	42
消	防、闭	
• • •		40
1 2	14 NA EL - VIZINA NA 114 EL	43 44
3		44 44
4	North History Hard Control of the Co	44
5	North Harmon County	44
6	Notice I and the second	45
7	No. 10 Control of the	46
外	郭 団 体	
高	萩市山林防火普及協会	47
高	萩市防火管理者協議会	48
	KIN IN I	49
高	萩市婦人消防クラブ連絡協議会	50



位置と面積

位 置

高萩市消防本部

高萩市東本町3丁目11番

東経 140° 43′ 19″ 北緯 36° 42′ 48″

面積

193.58km²



管内の概況

1 位置と地勢・気候

本市は、茨城県の北東部に位置し、東は太平洋に面し、西は阿武隈山系南端の多賀山地が連なっています。

北部は茨城県北茨城市、南部は日立市、西部は常陸太田市に接しており、首都東京から 150 k m圏内に位置し、県庁所在地(水戸市)の北約 45 k mの地点にあります。

気候は、東日本型気候に属し、太平洋に面しているため、県内の内陸部に比べると冬は温暖で 夏は涼しくなっている。

なお、山間部は海抜 $300\sim500\,\mathrm{m}$ という地理的条件により、海岸部より年平均気温が約 $2\sim4$ 度低い内陸性気候を示している。

2 沿 革

明治 22 年の町村施行令により、松原町、松岡村、高岡村、櫛形村、黒前村が設置され、昭和 29 年にそれらの町村が合併して高萩市が誕生しました。その後 2 度の編入を受けて昭和 63 年から現在の高萩市となっています。

表 本市の沿革

公 本市の旧中				
明治 22.4.1	・秋山村、安良川村、島名村、高萩村、伊師村の内字滝坪をもって、多賀郡 松原町を設置			
	・赤浜村、高戸村、下手綱村、上手綱村をもって、多賀郡松岡村を設置 ・中戸川村、大能村、上君田村、下君田村、横川村、若栗村をもって、多賀 野真岡はな記録			
	群高岡村を設置 ・友部村、伊師村(字滝坪を除く)、伊師本郷村をもって、多賀郡櫛形村を設置			
	・黒坂村、高原村、山部村、福平村をもって、多賀郡黒前村を設置			
昭和 3.4.17	・多賀郡松岡村を松岡町とする			
12.10. 1	・多賀郡松原村を高萩町とする			
29.11.23	・多賀郡高萩町、松岡町、高岡町、黒前村及び櫛形村の一部を合併し、高萩			
	市を設置(市制施行)			
32. 7. 1	・北茨城市の一部(望海地区)を高萩市へ編入			
63. 6. 1	・北茨城市の一部(中郷町日棚地区の一部)を高萩市へ編入			

常備消防のあゆみ

	1	
	4.01	高萩市消防本部(署)発足
		消防吏員総員 21 名
昭和 40 年		初代消防長 安村 篤氏 (市長事務取扱)
		署長岩本啓治氏(助役)就任
	6.08	水槽付ポンプ自動車1台にて消防業務開始
昭和 41 年	4.01	消防吏員 2 名採用 総員 23 名
P首介I 41 十・	6.05	消防署長に中山 実氏 就任
昭和 42 年	3.31	消防吏員1名退職
PD/10 42 4	4.01	消防吏員総員 22 名
昭和 43 年	4.01	消防吏員 1 名採用 総員 23 名
	4.01	消防吏員 13 名採用 総員 26 名
昭和44年		救急業務を開始する
нцин ээ ү	7.01	第2代消防長 中山 実氏(署長兼務)就任
	12.01	救急自動車配置
	4.01	消防吏員2名採用 総員28名 その他の職員市役所より1名出向
昭和 45 年	6.05	指令車配置
н <u>П</u> ЛН до —	9.20	消防ポンプ車増設
		庁舎 (389.89 m²) が狭隘になったため鉄筋コンクリート 2 階建 133 m²増築
昭和46年	4.01	消防吏員 2 名採用 総員 30 名 その他の職員 1 名
昭和 47 年	4.01	消防吏員 3 名採用 総員 33 名 その他の職員 1 名
	4.01	消防吏員1名採用 総員34名 その他の職員1名
昭和 48 年	6.01	第2代消防長 中山 実氏 退任
н <u>п</u> ли 1 0 —		第3代消防長に助役 下山田 一郎氏(事務取扱)就任
		消防ポンプ自動車購入
	7.01	第3代消防長 下山田 一郎氏(事務取扱)退任
昭和 49 年		第4代消防長に本郷 芳氏(署長、課長兼務)就任
		救急自動車(山之内製薬より寄贈)配置
昭和50年	4.01	消防吏員 5 名採用 総員 38 名 その他の職員 1 名
昭和51年	9.30	第4代消防長 本郷 芳氏 退任
нылн от Т		第5代消防長 佐藤 健雄氏(署長、課長兼務)就任
昭和 52 年	2.12	救急自動車(関彰商事株式会社より寄贈)配置
	12.15	水槽付消防ポンプ自動車1台配置
昭和53年	4.01	消防吏員 2 名採用 総員 40 名 その他の職員 1 名
	4.01	高萩市・十王町事務組合消防本部発足
昭和54年		初代消防長 佐藤 健雄氏 就任
Mark of 1		消防吏員 21 名採用 総員 61 名
		十王分署開設(本部 7 名 高萩消防署 33 名 十王分署 21 名)
	3.26	十王分署を救急自動車(山之内製薬より寄贈)配置
昭和 55 年	4.01	消防吏員 1 名採用 総員 62 名(本部 8 名 高萩消防署 33 名 十王分署 21
		名)
	4.30	初代消防長佐藤健雄氏退任
昭和56年		第6代消防長に管理者 鈴木 藤太氏(消防事務取扱)就任
	7.01	第7代消防長 石田 富吉氏 就任
昭和 57 年	12.09	高萩消防署 消防ポンプ自動車(CD-II型)配置
		消防ポンプ自動車廃車(45年購入)

昭和 59 年 8.20 新庁舎元成 鉄新コンクリート 2 階建 (1 階 668.20 m.f. 2 階 593.03 m.f. 延		4.01	沙叶市昌 0 月初田 - 炒昌 0.4 月
昭和59年		4.01	消防吏員2名採用 総員64名
調練幣2 棟所設 144 ㎡ (高さ 17m と 7m)、外高圧充填所 RC 造 10.25 ㎡) 3.31	昭和 59 年	8.20	
昭和61年 4.01 第7代消防長 石田 富吉氏 退任 第8代消防及管理者 鈴木 藤太氏 (消防及事務取扱) 献任 第8代消防及管理者 鈴木 藤太氏 (消防及事務取扱) 献任 9.30 消防吏員1名 退職 総員62名 昭和62年 1.31 消防吏員1名 退職 総員61名 消防吏員2名 接用 総員61名 消防吏員2名 接用 総員61名 消防吏員2名 接用 総員61名 消防吏員2名 接用 総員63名 日2.27 救急自動車 (山上2內喪薬上り 寄贈) 配置 平成3年 3.27 高統消防署 水槽付ボンブ自動車(1-B)配置 消防吏員名 移用 総員67名 その他の職員1名採用 平成4年 4.01 十五分署が十五消防署に昇格 消防吏員名 移規 総員72名 その他の職員1名 第9代消防及人木都 直教氏 退任 第10代消防長に木村 進氏 就任 消防吏員名 移規 総員76名 その他の職員1名 河防吏員名 移規 総員76名 その他の職員1名 河防吏員名 移規 総員76名 その他の職員1名 消防吏員名 移規 総員76名 その他の職員1名 消防吏員名 移規 総員76名 その他の職員1名 消防吏員名 移規 総員76名 その他の職員1名 消防吏員名 移規 総員76名 その他の職員1名 河防吏員1名退職 総員76名 その他の職員1名 河豚ウ吏員1名退職 総員83名 その他の職員1名 河豚ウ吏員2名退職 総員83名 その他の職員1名 河豚ウ吏員2名退職 総員83名 その他の職員1名 河豚ウ吏員2名退職 総員83名 その他の職員1名 1231 消防吏員2名退職 総員83名 その他の職員1名 東成9年 4.01 消防吏員6名採用 総員89の名 その他の職員1名 東成9年 4.01 消防・支員6名採用 総員90名 その他の職員1名 原統消防・資政政党2名 経済 ※ 24 の他の職員1名 原統消防・資政政党2名 経済 ※ 24 の他の職員1名 原統消防・資政政党2名 接近 第11代消防及 木村 進氏 退任 消防吏員2名採用 総員89名 その他の職員1名 東統13年 孫後26年 年 4.01 第24 日間等事務を書贈室に移動 旧署事務を書贈室に移動 日間等事務を書贈室に移動 日間等事務を書贈室に移動 日間等事務を書贈室に移動 日間等事務を書贈室に移動 日間等事務を表情的形況課記:1名統 第11代消防及 金及 その他の職員 1名 東北市 24日 第12年 福度8 第2 年 24日の職員 1名 東北市 24日 第12年 福度8 第2 年 24日の職員 1名 東北市 24日の職員 24日の職			
昭和 61 年			
昭和61年 7.01 第9代消防長 大都 直教氏 就任 9.30 消防吏員1名 退職 総員62名 1.31 消防吏員1名 退職 総員61名 4.01 消防吏員2名 採用 総員61名 1.10寸 減防吏員2名 採用 総員61名 1.10寸 減防吏員2名 採用 総員63名 3.02 十五分署 消防ボンブ自動車 (BD·I) 配置			
7.01	昭和61年	4.01	第8代消防長管理者 鈴木 藤太氏(消防長事務取扱)就任
昭和 62 年 1.31 消防吏員1名 退職 総員 61名 消防吏員3名 採用 総員66名 第四 63 年 12.27 教念自動車 (山之内製薬より寄贈) 配置 平成 2 年 11.04 消防吏員1名 退職 総員63名 平成 3 年 3.27 高級消防署 水槽付水ンブ自動車 (BD-1) 配置 高級消防室 水槽付水ンブ自動車(BD-1) 配置 高級消防室 水槽付水ンブ自動車(1-1-1) 配置 高級消防支員4名 表明 総員 67名 その他の職員1名 提出 4.01 消防吏員4名 表明 総員 67名 その他の職員1名 下成 4 年 4.01 中成 4 年 4.01 中元分署が十工消防署に見格 消防支員5名 採用 総員72名 その他の職員1名 第 9 代消防長1名 表別 2 年 2 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年	MATE OI 1	7.01	第9代消防長 大都 直教氏 就任
昭和62年 4.01 消防吏員3名 採用 総員61名 昭和63年 12.27 核急自動車 (山と内製薬上り寄贈) 配置 平成2年 11.04 消防吏員1名 退職 総員63名 3.02 十王分署 消防ボンブ自動車(I-B)配置 平成3年 3.27 高萩消防署 水槽付水ンブ自動車(I-B)配置 判防吏員4名採用 総員67名 その他の職員1名採用 平成4年 4.01 十五分署が十五消防署に昇格 消防吏員5名採用 総員72名 その他の職員1名 平成5年 4.01 第16代消防長に木村 進氏 就任 消防吏員5名採用 総員75名 その他の職員1名 「消防吏員5名採用 総員75名 その他の職員1名 「消防吏員5名採用 総員75名 その他の職員1名 「消防吏員5名採用 総員76名 その他の職員1名 「消防吏員5名採用 総員76名 その他の職員1名 「消防吏員5名採用 総員76名 その他の職員1名 「消防吏員5名採用 総員80名 その他の職員1名 「消防吏員5名採用 総員80名 その他の職員1名 「消防吏員5名採用 総員80名 その他の職員1名 「消防吏員2名退職 総員82名 その他の職員1名 「消防吏員3名採用 総員83名 その他の職員1名 「消防吏員1名採用 総員80名 その他の職員1名 「消防吏員1名採用 総員80名 その他の職員1名 「消防吏員2名採用 総員88名 その他の職員1名 「海が消防署 水槽付ポンブ自動車 (I型) 配置 「対防吏員2名採用 総員90名 その他の職員1名 「場防災航空隊に1名派遣 第16代消防長に金沢 英雄氏 就任 「消防吏員2名採用 総員90名 その他の職員1名 「第16代消防長1名採用 総員90名 その他の職員1名 「第16代消防長1名採用 総員90名 その他の職員1名 「第16代消防長1名採用 総員90名 その他の職員1名 「第16代消防長1名採用 総員90名 その他の職員1名 「第11代消防長1名 天韓氏 就任 消防吏員2名採用 総員90名 その他の職員1名 「第11代消防長1公ア 英雄氏 退任 「消防吏員2名退職 総員87名 その他の職員1名 「第12年 4.01 第11代消防長1公ア 英雄氏 退任 「消防吏員2名採用 総員89名 その他の職員1名 「果生活環境部前防防災課に1名派遣		9.30	消防吏員1名 退職 総員62名
昭和63年 12.27 秋念自動車 (山之内製薬より寄贈) 配置 平成3年 11.04 消防吏員1名退職 総員63名 平成3年 3.27 高萩消防署 水槽付ボンブ自動車 (BD-1) 配置 高萩消防要 水槽付ボンブ自動車 (I-B)配置 14.01 平式4年 4.01 十王分署 14.01 十王分署 14.01 14.	四和69年	1.31	消防吏員1名 退職 総員61名
平成3年 11.04 消防吏員1名退職 総員63名 3.02 十王分署 消防ポンブ自動車 (BD-1) 配置 高級消防署 水槽付ポンブ自動車 (I-B)配置 消防吏員4名採用 総員67名 その他の職員1名採用 半成4年 4.01 十王分署が十王消防署に昇格 消防吏員5名採用 総員72名 その他の職員1名 3.25 ひとり暮らし緊急通報システム開所 第10代消防長1大都 直教氏 退任 第10代消防長1大林 進氏 就任 消防吏員5名採用 総員75名 その他の職員1名 消防吏員5名採用 総員80名 その他の職員1名 清防財害 屈折はしこで消防自動車配置 3.31 消防吏員2名退職 総員78名 その他の職員1名 消防吏員5名採用 総員83名 その他の職員1名 消防吏員5名採用 総員83名 その他の職員1名 消防吏員6名採用 総員83名 その他の職員1名 消防吏員6名採用 総員83名 その他の職員1名 消防吏員6名採用 総員80名 その他の職員1名 消防吏員6名採用 総員80名 その他の職員1名 消防吏員6名採用 総員80名 その他の職員1名 消防吏員6名採用 総員80名 その他の職員1名 高裁消防署 水槽付ポンブ自動車 (I型)配置 第10代消防皮に金沢 英雄氏 就任 消防吏員1名採用 総員90名 その他の職員1名 東防災航空隊に1名派遣 第10代消防長に金沢 英雄氏 就任 消防吏員1名採用 総員90名 その他の職員1名 第11代消防長6本課 大村 進氏 並任 消防吏員1名採用 総員90名 その他の職員1名 第11代消防及 本槽付ポンプ自動車 (I-B)配置 第11代消防及 金沢 英雄氏 遺任 消防吏員2名退職 総員87名 その他の職員1名 第12代消防支長 金沢 英雄氏 遺任 消防吏員2名退職 総員87名 その他の職員1名 第12代消防支長に対下和久氏 旅任 消防吏員2名退職 総員87名 その他の職員1名 第12代消防支長に対下和久氏 旅任 消防吏員2名退職 総員87名 その他の職員1名 第12代消防支援に1名派遣	ип/п 02 Т	4.01	消防吏員3名 採用 総員64名
平成3年 3.02 十王分署 消防ボンブ自動車 (BD-I) 配置 高萩消防署 水槽付ボンブ自動車(I-B)配置 消防吏員 4 名採用 総員 67名 その他の職員 1 名採用 半正分署が十王消防署に昇格 消防吏員 5 名採用 総員 75名 その他の職員 1 名 2 3.25 ひとり暮らし緊急通報システム開所 第 9 代消防長 大都 直教氏 退任 第 10 代消防長に木村 進氏 就任 消防吏員 5 名採用 総員 75名 その他の職員 1 名 消防吏員 5 名採用 総員 75名 その他の職員 1 名 消防吏員 5 名採用 総員 80名 その他の職員 1 名 消防吏員 5 名採用 総員 80名 その他の職員 1 名 消防吏員 5 名採用 総員 80名 その他の職員 1 名 済滅県立消防学校に講師として1 名派遣 海防吏員 2 名退職 総員 83名 その他の職員 1 名 1 2 31 消防吏員 2 名退職 総員 83名 その他の職員 1 名 1 2 31 消防吏員 6 名採用 総員 83名 その他の職員 1 名 1 2 31 消防吏員 6 名採用 総員 88名 その他の職員 1 名 1 2 31 消防吏員 6 名採用 総員 88名 その他の職員 1 名 1 3 3 4 高萩消防署 水槽付ボンブ自動車 (II型) 配置 消防吏員 2 名採用 総員 90名 その他の職員 1 名 県防災航空隊に1 名派遣 4 01 消防吏員 2 名採用 総員 90名 その他の職員 1 名 東政災航空隊に1 名派遣 4 01 第 1 1 代消防長 木村 進氏 退任第 1 1 代消防吏員 1 名採用 総員 90名 その他の職員 1 名 第 1 1 代消防長 木村 進氏 退任第 1 1 代消防吏員 2 名採用 総員 90名 その他の職員 1 名 高萩消防署 高規格教急車配置 第 3 3 8 高萩消防署 水槽付ボンブ自動車 (I-B) 配置 第 1 1 代消防支 大村 進氏 退任 第 1 1 代消防支 本村 2 5 6 5 6 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	昭和63年	12.27	救急自動車(山之内製薬より寄贈)配置
平成4年 3.27 高萩消防署 木槽付ポンプ自動車(I-B)配置 消防吏員 4 名採用 総員 67 名 その他の職員 1 名採用 平成4年 4.01 十王分署が十王消防署に昇格 消防吏員 5 名採用 総員 72 名 その他の職員 1 名 第 10 代消防長 大都 直教氏 退任 第 10 代消防長 大都 直教氏 退任 第 10 代消防長 大都 直教氏 退任 第 10 代消防吏員 5 名採用 総員 75 名 その他の職員 1 名 消防吏員 5 名採用 総員 75 名 その他の職員 1 名 消防吏員 5 名採用 総員 80 名 その他の職員 1 名 消防吏員 5 名採用 総員 80 名 その他の職員 1 名 消防吏員 5 名採用 総員 80名 その他の職員 1 名 漢城県立消防学校に講師として1 名派遣 2.10 高萩消防署 屈折はしご付消防自動車配置 消防吏員 2 名退職 総員 83 名 その他の職員 1 名 消防吏員 1 名退職 総員 83 名 その他の職員 1 名 消防吏員 5 名採用 総員 83 名 その他の職員 1 名 消防吏員 5 名採用 総員 83 名 その他の職員 1 名 消防吏員 5 名採用 総員 83 名 その他の職員 1 名 消防吏員 2 名退職 総員 83 名 その他の職員 1 名 第 1 次 第 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1	平成2年	11.04	消防吏員1名退職 総員63名
4.01 消防吏員 4名採用 総員 67名 その他の職員 1名採用		3.02	十王分署 消防ポンプ自動車 (BD-I) 配置
平成4年 4.01 十王分署が十王消防署に昇格 消防吏員5名採用 総員72名 その他の職員1名 3.25 ひとり暮らし緊急通報システム開所 3.31 第9代消防長 大都 直教氏 退任 第10代消防長に木村 速氏 就任 消防吏員5名採用 総員6名 その他の職員1名 11.12 消防吏員5名採用 総員6名 その他の職員1名 11.12 消防吏員5名採用 総員80名 その他の職員1名 平成6年 4.01 消防吏員5名採用 総員80名 その他の職員1名 平成7年 3.31 消防吏員2名採用 総員83名 その他の職員1名 12.31 消防吏員2名採用 総員88名 その他の職員1名 12.31 消防吏員6名採用 総員88名 その他の職員1名 平成8年 4.01 消防吏員6名採用 総員88名 その他の職員1名 平成9年 4.01 消防吏員2名採用 総員88名 その他の職員1名 平成10年 4.01 消防吏員2名採用 総員90名 その他の職員1名 平成10年 4.01 第10代消防長 木村 進氏 退任 第10代消防長1名採用 総員90名 その他の職員1名 高萩消防署事務室を講堂に移動1 平成11年 1.20 高萩消防署事務室を講堂に移動1 平成11年 1.20 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車(I-B)配置 第11代消防支量2名採服 総員89名 その他の職員1名 第11代消防支量2名採服 総長87名 その他の職員1名 第12代消防支援1ず 和久氏 就任 消防吏員2名採服 総員89名 その他の職員1名 東生活環境部消防防災職に1名派遣 4.01 第12代消防長にず 和久氏 就任 消防吏員2名採服 総員89名 その他の職員1名 第12代消防支債25年 和久氏 就任 海防吏員2名採服 総員89名 その他の職員1名 第12代消防吏員2名採服 総員89名 その他の職員1名 東広13年 4.01 第12代消防吏員2名採服 総員60名 その他の職員60名	平成3年	3.27	高萩消防署 水槽付ポンプ自動車(I-B)配置
平成4年 4.01 十王分署が十王消防署に昇格 消防吏員5名採用 総員72名 その他の職員1名 3.25 ひとり暮らし緊急通報システム開所 3.31 第9代消防長 大都 直教氏 退任 第10代消防長に木村 速氏 就任 消防吏員5名採用 総員6名 その他の職員1名 11.12 消防吏員5名採用 総員6名 その他の職員1名 11.12 消防吏員5名採用 総員80名 その他の職員1名 平成6年 4.01 消防吏員5名採用 総員80名 その他の職員1名 平成7年 3.31 消防吏員2名採用 総員83名 その他の職員1名 12.31 消防吏員2名採用 総員88名 その他の職員1名 12.31 消防吏員6名採用 総員88名 その他の職員1名 平成8年 4.01 消防吏員6名採用 総員88名 その他の職員1名 平成9年 4.01 消防吏員2名採用 総員88名 その他の職員1名 平成10年 4.01 消防吏員2名採用 総員90名 その他の職員1名 平成10年 4.01 第10代消防長 木村 進氏 退任 第10代消防長1名採用 総員90名 その他の職員1名 高萩消防署事務室を講堂に移動1 平成11年 1.20 高萩消防署事務室を講堂に移動1 平成11年 1.20 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車(I-B)配置 第11代消防支量2名採服 総員89名 その他の職員1名 第11代消防支量2名採服 総長87名 その他の職員1名 第12代消防支援1ず 和久氏 就任 消防吏員2名採服 総員89名 その他の職員1名 東生活環境部消防防災職に1名派遣 4.01 第12代消防長にず 和久氏 就任 消防吏員2名採服 総員89名 その他の職員1名 第12代消防支債25年 和久氏 就任 海防吏員2名採服 総員89名 その他の職員1名 第12代消防吏員2名採服 総員89名 その他の職員1名 東広13年 4.01 第12代消防吏員2名採服 総員60名 その他の職員60名		4.01	
平成 4 年 消防吏員 5 名採用 総員 72名 その他の職員 1名 3.25	7.5		
3.25 ひとり暮らし緊急通報システム開所 第9代消防長 大都 直教氏 退任 第10代消防長に木村 進氏 就任 消防吏員 5名採用 総員 75名 その他の職員 1名 消防吏員 5名採用 総員 80名 その他の職員 1名 消防吏員 5名採用 総員 80名 その他の職員 1名 茨城県立消防学校に講師として 1名派遣 高萩消防署 屈折はして付消防自動車配置 16防吏員 2名退職 総員 88名 その他の職員 1名 消防吏員 5名採用 総員 88名 その他の職員 1名 消防吏員 5名採用 総員 88名 その他の職員 1名 消防吏員 5名採用 総員 88名 その他の職員 1名 消防吏員 1名 2.31 消防吏員 1名退職 総員 88名 その他の職員 1名 12.31 消防吏員 6名採用 総員 88名 その他の職員 1名 15.31 消防吏員 6名採用 総員 88名 その他の職員 1名 15.31 消防吏員 2名提職 総員 88名 その他の職員 1名 15.50 配置 第15 代消防党 木槽付ボンブ自動車(II型)配置 高萩消防署 木槽付ボンブ自動車(II型)配置 第10 代消防長 金採用 総員 90名 その他の職員 1名 県防災航空隊に 1名派遣 第10 代消防長に金沢 英雄氏 就任 消防吏員 1名採用 総員 90名 その他の職員 1名 5.20 高萩消防署事務室を講堂に移動 旧署事務室を指令室 緊急通信指令室開所 3.28 高萩消防署事務室を講堂に移動 旧署事務室を指令室 緊急通信指令室開所 3.28 高萩消防署 木槽付ボンブ自動車(I・B)配置 第11 代消防長 金沢 英雄氏 退任 消防吏員 2名退職 総員 87名 その他の職員 1名 第12 代消防吏員 2名退職 総員 87名 その他の職員 1名 集生活環境部消防防災課に 1名派遣 125 十王消防署 高規格教急車配置	平成4年	1.01	
3.31 第9代消防長 大都 直教氏 退任 第10代消防長に木村 進氏 就任 消防吏員5名採用 総員76名 その他の職員1名 11.12 消防吏員1名退職 総員75名 その他の職員1名 消防吏員5名採用 総員80名 その他の職員1名 流防吏員5名採用 総員80名 その他の職員1名 交城県立消防学校に講師として1名派遣 高萩消防署 屈折はしご付消防自動車配置 平成7年 3.31 消防吏員2名退職 総員83名 その他の職員1名 4.01 消防吏員2名採用 総員83名 その他の職員1名 12.31 消防吏員6名採用 総員88名 その他の職員1名 平成8年 4.01 消防吏員6名採用 総員88名 その他の職員1名 平成9年 4.01 消防吏員2名採用 総員90名 その他の職員1名 平成9年 4.01 第16代消防長に金沢 英雄氏 就任 消防吏員1名採用 総員90名 その他の職員1名 第11代消防長に金沢 英雄氏 就任 第11代消防長6室沢 英雄氏 就任 第11代消防長6室沢 英雄氏 退任 第12年 4.01 高萩消防署事務室を請金に移動 旧署事務室を指令室 緊急通信指令室開所 3.28 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (I-B) 配置 第12代消防吏員2名退職 総員87名 その他の職員1名 第12代消防吏員2名退職 総員87名 その他の職員1名 平成12年 4.01 第12代消防吏員2名退職 総員89名 その他の職員1名 平成13年 1.25 十五消防署 高規格教急車配置		3 25	
平成5年 4.01 第10代消防長に木村 進氏 就任 消防吏員5名採用 総員76名 その他の職員1名 消防吏員5名採用 総員75名 その他の職員1名 消防吏員5名採用 総員80名 その他の職員1名 茨城県立消防学校に講師として1名派遣 2.10 高萩消防署 屈折はしご付消防自動車配置 消防吏員5名採用 総員83名 その他の職員1名 消防吏員5名採用 総員83名 その他の職員1名 消防吏員5名採用 総員83名 その他の職員1名 消防吏員6名採用 総員83名 その他の職員1名 消防吏員6名採用 総員82名 その他の職員1名 消防吏員6名採用 総員82名 その他の職員1名 消防吏員6名採用 総員82名 その他の職員1名 海荻消防署 本槽付ポンプ自動車(11型)配置 消防吏員2名採用 総員90名 その他の職員1名 県防災航空隊に1名派遣 3.04 高萩消防署高規格救急車配置 第10代消防長 木村 進氏 退任 第11代消防長に金沢 英雄氏 就任 消防吏員1名採用 総員90名 その他の職員1名 高萩消防署事務室を講堂に移動 旧署事務室を指令室 平成11年 4.01 第11代消防長金沢 英雄氏 退任 第11代消防長 金沢 英雄氏 退任 消防吏員1名採用 総員90名 その他の職員1名 高萩消防署事務室を請堂に移動 旧署事務室を指令室 第急通信指令室開所 3.28 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車(1-B)配置 第11代消防長金沢 英雄氏 退任 消防吏員2名退職 総員87名 その他の職員1名 第12代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員2名採用 総員87名 その他の職員1名 県生活環境部消防防災課に1名派遣			
消防吏員5名採用 総員76名 その他の職員1名 消防吏員5名採用 総員75名 その他の職員1名 消防吏員5名採用 総員80名 その他の職員1名 茨城県立消防学校に講師として1名派遣 2.10 高萩消防署 屈折はしご付消防自動車配置 4.01 消防吏員2名退職 総員78名 その他の職員1名 消防吏員5名採用 総員83名 その他の職員1名 消防吏員5名採用 総員83名 その他の職員1名 消防吏員6名採用 総員82名 その他の職員1名 消防吏員6名採用 総員82名 その他の職員1名 消防吏員6名採用 総員82名 その他の職員1名 高萩消防署 木槽付ポンプ自動車(II型)配置 平成9年 4.01 消防吏員2名採用 総員90名 その他の職員1名 県防災航空隊に1名派遣 第10代消防長 木村 進氏 退任 第11代消防長に金沢 英雄氏 就任 消防吏員1名採用 総員90名 その他の職員1名 京萩消防署事務室を講堂に移動 旧署事務室を指令室 平成11年 4.01 高萩消防署事務室を講堂に移動 旧署事務室を指令室 4.01 京萩消防署 木槽付ポンプ自動車(I-B)配置 3.28 高萩消防署 木槽付ポンプ自動車(I-B)配置 3.28 高萩消防署 木槽付ポンプ自動車(I-B)配置 第11代消防長 金沢 英雄氏 退任 消防吏員2名退職 総員87名 その他の職員1名 第12代消防吏員2名退職 総員87名 その他の職員1名 第12代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員2名採用 総員89名 その他の職員1名 県生活環境部消防防災課に1名派遣 1.25 十王消防署 高規格教急車配置	平成5年		
11.12 消防吏員 1 名退職 総員 75名 その他の職員 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名	1 /3% 0 1	4.01	
平成6年 4.01 消防吏員5名採用 総員80名 その他の職員1名 茨城県立消防学校に講師として1名派遣 平成7年 2.10 高萩消防署 屈折はしご付消防自動車配置 3.31 消防吏員2名退職 総員78名 その他の職員1名 4.01 消防吏員5名採用 総員83名 その他の職員1名 12.31 消防吏員1名退職 総員82名 その他の職員1名 平成8年 4.01 消防吏員6名採用 総員88名 その他の職員1名 平成9年 4.01 消防吏員2名採用 総員90名 その他の職員1名 平成9年 4.01 第10代消防長 本村 進氏 退任 第3.04 高萩消防署高規格教急車配置 平成10年 第10代消防長に金沢 英雄氏 就任 第11代消防長に金沢 英雄氏 就任 消防吏員1名採用 総員90名 その他の職員1名 平成11年 1.20 高萩消防署事務室を講堂に移動 中国12年 4.01 緊急通信指令室開所 3.28 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (I・B) 配置 第11代消防長 金沢 英雄氏 退任 消防吏員2名退職 総員87名 その他の職員1名 第12代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員2名退職 総員89名 その他の職員1名 平成13年 1.25 十王消防署 高規格教急車配置		11 19	
平成 7年 茨城県立消防学校に講師として1名派遣 平成 7年 3.31 消防吏員2名退職総員78名その他の職員1名 4.01 消防吏員5名採用総員83名その他の職員1名 12.31 消防吏員6名採用総員88名その他の職員1名 平成 8年 4.01 消防吏員6名採用総員88名その他の職員1名 平成 9年 4.01 消防吏員2名採用総員90名その他の職員1名県防災航空隊に1名派遣 平成 9年 4.01 高萩消防署高規格牧急車配置第1名県防災航空隊に1名派遣第1代消防長に金沢英雄氏 就任消防吏員1名採用総員90名その他の職員1名第11代消防長に金沢英雄氏就任消防吏員1名採用総員90名その他の職員1名。 平成 11年 1.20 高萩消防署事務室を講堂に移動旧署務室を講堂に移動日署務室を指令室場所 平成 11年 1.20 高萩消防署水槽付ポンプ自動車(I-B)配置第11代消防長金沢英雄氏退任消防吏員2名退職総員87名その他の職員1名第11代消防長に対力人氏就任消防吏員2名退職総員87名その他の職員1名第12代消防長に対力人氏就任消防吏員2名採用総員89名その他の職員1名県生活環境部消防防災課に1名派遣中武衛財政防災課に1名派遣中議員89名をの他の職員1名県生活環境部消防防災課に1名派遣			
平成7年 2.10 高萩消防署 屈折はしご付消防自動車配置 3.31 消防吏員2名退職 総員78名 その他の職員1名 4.01 消防吏員5名採用 総員83名 その他の職員1名 12.31 消防吏員6名採用 総員88名 その他の職員1名 平成8年 4.01 消防吏員6名採用 総員88名 その他の職員1名 平成9年 4.01 消防吏員2名採用 総員90名 その他の職員1名 平成10年 3.31 第10代消防長 木村 進氏 退任 第11代消防長に金沢 英雄氏 就任 消防吏員1名採用 総員90名 その他の職員1名 第11代消防長に金沢 英雄氏 財任 平成11年 1.20 高萩消防署事務室を講堂に移動 甲成11年 1.20 高萩消防署事務室を請堂に移動 甲成11年 4.01 第高萩消防署 水槽付ポンプ自動車(I·B)配置 3.31 第11代消防長金沢 英雄氏 退任 消防吏員2名退職 総員87名 その他の職員1名 第12代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員2名退職 総員89名 その他の職員1名 集生活環境部消防防災課に1名派遣 平成13年 1.25 十王消防署 高規格教急車配置	平成6年	4.01	
平成7年 3.31 消防吏員 2名退職 総員 78名 その他の職員 1名 4.01 消防吏員 5名採用 総員 83名 その他の職員 1名 12.31 消防吏員 1名退職 総員 82名 その他の職員 1名 平成8年 4.01 消防吏員 6名採用 総員 88名 その他の職員 1名 平成9年 4.01 消防吏員 2名採用 総員 90名 その他の職員 1名県防災航空隊に 1名派遣 平成10年 3.04 高萩消防署高規格教急車配置 平成10年 3.31 第 10 代消防長 木村 進氏 退任 第11 代消防吏員 1名採用 総員 90名 その他の職員 1名 高萩消防署事務室を講堂に移動旧署事務室を指令室 平成11年 1.20 高萩消防署・水槽付ポンプ自動車 (I-B)配置 3.28 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (I-B)配置 3.31 第 11 代消防長 金沢 英雄氏 退任消防吏員 2名退職総員 87名 その他の職員 1名第 12代消防吏員 2名退職総員 87名 その他の職員 1名県生活環境部消防防災課に 1名派遣 平成13年 1.25 十王消防署 高規格教急車配置		0.10	
平成7年 4.01 消防吏員 5 名採用 総員 83 名 その他の職員 1 名 12.31 消防吏員 1 名退職 総員 82 名 その他の職員 1 名 平成8年 4.01 消防吏員 6 名採用 総員 88 名 その他の職員 1 名 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (II型) 配置 消防吏員 2 名採用 総員 90 名 その他の職員 1 名 県防災航空隊に 1 名派遣 3.04 高萩消防署高規格救急車配置 3.31 第 10 代消防長 木村 進氏 退任 第 11 代消防長に金沢 英雄氏 就任 消防吏員 1 名採用 総員 90 名 その他の職員 1 名 平成 10 年 1.20 高萩消防署事務室を講堂に移動 旧署事務室を指令室 4.01 緊急通信指令室開所 3.28 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (I・B) 配置 3.31 第 11 代消防長 金沢 英雄氏 退任 消防吏員 2 名退職 総員 87 名 その他の職員 1 名 第 12 代消防吏員 2 名退職 総員 87 名 その他の職員 1 名 第 12 代消防吏員 2 名退職 総員 87 名 その他の職員 1 名 第 12 代消防吏員 2 名退職 総員 89 名 その他の職員 1 名 県生活環境部消防防災課に 1 名派遣 平成 13 年 1.25 十王消防署 高規格教急車配置			
12.31 消防吏員 1 名退職 総員 82 名 その他の職員 1 名 平成 8年 4.01 消防吏員 6 名採用 総員 88 名 その他の職員 1 名 平成 9年 4.01 消防吏員 2 名採用 総員 90 名 その他の職員 1 名 県防災航空隊に 1 名派遣 3.04 高萩消防署高規格救急車配置 3.31 第 10 代消防長 木村 進氏 退任 3.31 第 10 代消防長 木村 進氏 退任 消防吏員 1 名採用 総員 90 名 その他の職員 1 名 4.01 第 11 代消防長に金沢 英雄氏 就任 消防吏員 1 名採用 総員 90 名 その他の職員 1 名 正名	平成7年		
平成8年 4.01 消防吏員6名採用 総員88名 その他の職員1名 3.14 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (II型) 配置 消防吏員2名採用 総員90名 その他の職員1名 県防災航空隊に1名派遣 3.04 高萩消防署高規格救急車配置 第331 第10代消防長 木村 進氏 退任 4.01 第11代消防長に金沢 英雄氏 就任 消防吏員1名採用 総員90名 その他の職員1名 平成11年 1.20 高萩消防署事務室を講堂に移動 旧署事務室を指令室 4.01 緊急通信指令室開所 3.28 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (I-B)配置 第3.31 第11代消防長 金沢 英雄氏 退任 消防吏員2名退職 総員87名 その他の職員1名 4.01 第12代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員2名退職 総員89名 その他の職員1名 東生活環境部消防防災課に1名派遣 平成13年 1.25			
平成 9年 4.01 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (II型) 配置 消防吏員 2 名採用 総員 90 名 その他の職員 1 名 県防災航空隊に 1 名派遣 3.04 高萩消防署高規格牧急車配置 3.31 第 10 代消防長 木村 進氏 退任 第 11 代消防長に金沢 英雄氏 就任 消防吏員 1 名採用 総員 90 名 その他の職員 1 名 高萩消防署事務室を講堂に移動 旧署事務室を指令室 4.01 緊急通信指令室開所 3.28 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (I・B) 配置 3.31 第 11 代消防長 金沢 英雄氏 退任 消防吏員 2 名退職 総員 87 名 その他の職員 1 名 第 12 代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員 2 名採用 総員 89 名 その他の職員 1 名 集生活環境部消防防災課に 1 名派遣 1.25 十王消防署 高規格牧急車配置	7.4°0 K		
平成 9年 4.01 消防吏員 2 名採用 総員 90 名 その他の職員 1 名 県防災航空隊に 1 名派遣 3.04 高萩消防署高規格救急車配置 3.31 第 10 代消防長 木村 進氏 退任 4.01 第 11 代消防長に金沢 英雄氏 就任 消防吏員 1 名採用 総員 90 名 その他の職員 1 名 平成 11 年 1.20 高萩消防署事務室を講堂に移動 旧署事務室を指令室 4.01 緊急通信指令室開所 3.28 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (I-B) 配置 3.31 第 11 代消防長 金沢 英雄氏 退任 消防吏員 2 名退職 総員 87 名 その他の職員 1 名 第 12 代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員 2 名退職 総員 87 名 その他の職員 1 名 第 12 代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員 2 名採用 総員 89 名 その他の職員 1 名 県生活環境部消防防災課に 1 名派遣 平成 13 年 1.25 十玉消防署 高規格救急車配置	平成8年		
県防災航空隊に1名派遣 3.04 高萩消防署高規格救急車配置 3.31 第10代消防長 木村 進氏 退任 4.01 第11代消防長に金沢 英雄氏 就任 消防吏員1名採用 総員90名 その他の職員1名 1.20 高萩消防署事務室を講堂に移動 旧署事務室を指令室 4.01 緊急通信指令室開所 3.28 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (I-B) 配置 3.31 第11代消防長 金沢 英雄氏 退任 消防吏員2名退職 総員87名 その他の職員1名 第12代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員2名採用 総員89名 その他の職員1名 県生活環境部消防防災課に1名派遣 1.25 十王消防署 高規格救急車配置	7000		
平成 10 年 3.04 高萩消防署高規格救急車配置 3.31 第 10 代消防長 木村 進氏 退任 4.01 第 11 代消防長に金沢 英雄氏 就任 消防吏員 1 名採用 総員 90 名 その他の職員 1 名 平成 11 年 1.20 平成 11 年 1.20 高萩消防署事務室を講堂に移動 旧署事務室を指令室 4.01 緊急通信指令室開所 3.28 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (I-B) 配置 3.31 第 11 代消防長 金沢 英雄氏 退任 消防吏員 2 名退職 総員 87 名 その他の職員 1 名 第 12 代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員 2 名採用 総員 89 名 その他の職員 1 名 県生活環境部消防防災課に 1 名派遣 平成 13 年 1.25 十王消防署 高規格救急車配置	平成9年	4.01	
平成 10年3.31 4.01第 10 代消防長 木村 進氏 退任 第 11 代消防長に金沢 英雄氏 就任 消防吏員 1 名採用 総員 90 名 その他の職員 1 名平成 11年1.20高萩消防署事務室を講堂に移動 旧署事務室を指令室 4.01照急通信指令室開所3.28高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (I・B) 配置 第 11 代消防長 金沢 英雄氏 退任 消防吏員 2 名退職 総員 87 名 その他の職員 1 名 第 12 代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員 2 名採用 総員 89 名 その他の職員 1 名 県生活環境部消防防災課に 1 名派遣平成 13年1.25十王消防署 高規格教急車配置			
平成 10年 4.01 第 11 代消防長に金沢 英雄氏 就任 消防吏員 1 名採用 総員 90 名 その他の職員 1 名 平成 11年 1.20 高萩消防署事務室を講堂に移動 旧署事務室を指令室 緊急通信指令室開所 3.28 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (I-B) 配置 3.31 第 11 代消防長 金沢 英雄氏 退任 消防吏員 2 名退職 総員 87 名 その他の職員 1 名 平成 12年 4.01 第 12 代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員 2 名採用 総員 89 名 その他の職員 1 名 県生活環境部消防防災課に 1 名派遣 平成 13年 1.25 十王消防署 高規格救急車配置			
4.01 第11代消防長に金沢 英雄氏 就任 消防吏員1名採用 総員90名 その他の職員1名 1.20 高萩消防署事務室を講堂に移動 旧署事務室を指令室 緊急通信指令室開所 3.28 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (I-B) 配置 3.31 第11代消防長 金沢 英雄氏 退任 消防吏員2名退職 総員87名 その他の職員1名 4.01 第12代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員2名採用 総員89名 その他の職員1名 県生活環境部消防防災課に1名派遣 平成13年 1.25	平成 10 年		
平成 11 年 1.20 高萩消防署事務室を講堂に移動 田署事務室を指令室 緊急通信指令室開所 3.28 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (I-B) 配置 3.31 第 11 代消防長 金沢 英雄氏 退任 消防吏員 2 名退職 総員 87 名 その他の職員 1 名 第 12 代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員 2 名採用 総員 89 名 その他の職員 1 名 県生活環境部消防防災課に 1 名派遣 平成 13 年 1.25 十王消防署 高規格救急車配置	1 /94 10 1	4.01	
平成 11 年 旧署事務室を指令室 4.01 緊急通信指令室開所 3.28 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (I·B) 配置 第 11 代消防長 金沢 英雄氏 退任 消防吏員 2 名退職 総員 87 名 その他の職員 1 名 消防吏員 2 名退職 総員 87 名 その他の職員 1 名 第 12 代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員 2 名採用 総員 89 名 その他の職員 1 名 県生活環境部消防防災課に 1 名派遣 平成 13 年 1.25			
4.01緊急通信指令室開所3.28高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (I·B) 配置3.31第 11 代消防長 金沢 英雄氏 退任 消防吏員 2 名退職 総員 87 名 その他の職員 1 名4.01第 12 代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員 2 名採用 総員 89 名 その他の職員 1 名 県生活環境部消防防災課に 1 名派遣平成 13 年1.251.25十王消防署 高規格救急車配置		1.20	高萩消防署事務室を講堂に移動
3.28 高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (I・B) 配置 3.31 第 11 代消防長 金沢 英雄氏 退任 消防吏員 2 名退職 総員 87 名 その他の職員 1 名 第 12 代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員 2 名採用 総員 89 名 その他の職員 1 名 県生活環境部消防防災課に 1 名派遣 平成 13 年 1.25 十王消防署 高規格救急車配置	平成 11 年		
平成 12 年第 11 代消防長 金沢 英雄氏 退任 消防吏員 2 名退職 総員 87 名 その他の職員 1 名 第 12 代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員 2 名採用 総員 89 名 その他の職員 1 名 県生活環境部消防防災課に 1 名派遣平成 13 年1.25十王消防署 高規格救急車配置		4.01	
平成 12 年消防吏員 2 名退職 総員 87 名 その他の職員 1 名 第 12 代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員 2 名採用 総員 89 名 その他の職員 1 名 県生活環境部消防防災課に 1 名派遣平成 13 年1.25十王消防署 高規格救急車配置		3.28	高萩消防署 水槽付ポンプ自動車 (I-B) 配置
平成 12 年 4.01 第 12 代消防長に圷 和久氏 就任 消防吏員 2 名採用 総員 89 名 その他の職員 1 名 県生活環境部消防防災課に 1 名派遣 平成 13 年 1.25 十王消防署 高規格救急車配置		3.31	第11代消防長 金沢 英雄氏 退任
4.01 第 12 代消防長に計 和久氏 就任 消防吏員 2 名採用 総員 89 名 その他の職員 1 名 県生活環境部消防防災課に 1 名派遣 平成 13 年 1.25 十王消防署 高規格救急車配置	亚战 19 年		消防吏員2名退職 総員87名 その他の職員1名
県生活環境部消防防災課に1名派遣 1.25 十王消防署 高規格救急車配置	十八八 12 十	4.01	第12代消防長に圷 和久氏 就任
平成 13 年 1.25 十王消防署 高規格救急車配置			消防吏員2名採用 総員89名 その他の職員1名
平成 13 年			県生活環境部消防防災課に1名派遣
^{十八 13 +}	亚出19年	1.25	十王消防署 高規格救急車配置
ガウェ ロ4ト4ンインノー・日本12人は 小田立名 カエ・日 こうく 1日より 1時から エッロ	十八八 13 年	4.01	消防吏員2名採用 総員91名 その他の職員1名

	0.01	# 10 / NWITE IT THE THE
	3.31	第12代消防長 圷 和久氏 退任
平成 14 年	4.01	第13代消防長に佐藤 勝彦氏 就任
		消防吏員 2 名採用 総員 92 名 その他の職員 1 名
	4.01	高萩消防署 救助工作車配置
平成 15 年		消防吏員1名採用 総員93名 その他の職員1名
1794 = 0	10.05	消防吏員1名退職 総員92名 その他の職員1名
	3.31	第13代消防長 佐藤 勝彦氏 退任
	5.51	
		消防吏員1名 退職
平成 16 年	4.01	第14代消防長に皆川 泰男氏 就任
, , , , ,		消防吏員1名採用 総員 91 名 その他の職員1名
	7.01	消防吏員1名採用 総員 92 名 その他の職員1名
	11.01	市町村指令第21号により高萩市・日立市事務組合消防本部となる
T-1-5	4.01	消防吏員5名採用 総員97名 その他の職員1名
平成 17 年		県防災航空隊に1名派遣
	3.16	十王消防署 消防ポンプ自動車 (CD-I) 配置
平成 18 年	3.31	消防吏員2名退職 総員95名 その他の職員1名
1 /94 10 1	4.01	消防吏員5名採用 総員100名 その他の職員1名
	3.31	第14代消防長 皆川 泰男氏 退任
	0.01	消防吏員 11 名退職
	4.01	
 b	4.01	第15代消防長 河野 泰喜氏 就任
平成 19 年		茨城県立消防学校に講師として1名派遣
	7.31	消防吏員 5 名採用 総員 94 名 その他の職員 1 名
	10.30	消防吏員1名退職 総員 93 名 その他の職員1名
		消防吏員1名退職 総員92名 その他の職員1名
	3.31	第15代消防長 河野 泰喜氏 退任
		消防吏員 7名退職
		高萩市・日立市事務組合消防本部解散に伴い全職員が高萩市・日立市事務組
		合を退職
	4.01	高萩市消防本部発足
平成 20 年	1.01	十王消防署 日立市消防本部に移管
1 /3% 20 1		高萩市・日立市事務組合消防本部職員中、60名(消防吏員 59名その他の職
		日 1 名)が高萩市消防本部職員として採用される
		26名は日立市消防本部へ採用
		第16代消防長 小野 眞氏 就任
		消防吏員 総員59名 その他の職員2名(うち市役所より1名出向)
	4.01	消防吏員 総員 59名 その他の職員 2名(うち市役所より 1名出向)
平成 21 年		県防災航空隊に1名派遣
	9.26	高萩消防署 高規格救急自動車 ((社)日本損害保険協会より寄贈) 配置
亚宁 99 年	3.31	消防吏員 1名退職
平成 22 年	4.01	消防吏員 総員 58名 その他の職員 2名 (うち市役所より 1名出向)
	3.11	東日本大震災
	3.31	第16代消防長 小野 眞氏 退任
平成 23 年	4.01	第16代消防長 小野 眞氏 再任用
	1.01	消防吏員 総員60名 その他の職員1名
	4.01	第16代消防長 小野 眞氏 再任用
平成 24 年	4.01	
W-4 05 F	0.01	消防吏員 総員60名 その他の職員2名(うち市役所より1名出向)
平成 25 年	3.31	第16代消防長 小野 眞氏 退任 消防吏員1名退職

	平成 25 年	4.01	第17代消防長 斎藤 祐二氏 就任
	平成 25 平		消防吏員 3 名 採用 総員 61 名
	亚出96年	3.31	消防吏員3名 退職
	平成 26 年	4. 1	消防吏員 2 名 採用 総員 60 名
	平成 27 年	3.31	消防吏員3名 退職

消防の沿革

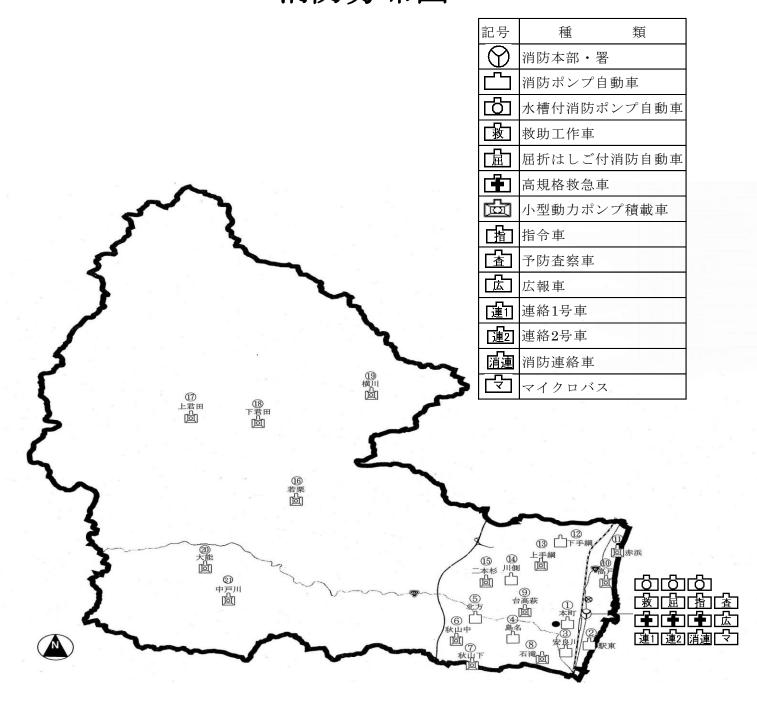
高萩市消防団

- 1 消防制度は明治27年(1894年)2月勅令第15号で消防規則が公布されたことにより、明治31年(1898年)1月本県令第1号をもって消防組規則施行細則が発布されたが、当地方では松原町消防組が明治27年(1894年)8月に設置され、続いて明治31年11月松岡村消防組、高岡村消防組がそれぞれ設置された。
- 2 大正 11 年当時の消防組としては、松原組一円を区域とする松原消防組(組頭 1、小頭 28、部長 6、消防手 289)、松岡村一円を区域とする松岡村消防組(組頭 1、小頭 17、消防手 171)の外は私設消防組として関口、千代田、秋山の炭鉱消防組があった。その後、昭和8年現在の松原町消防組は部数7(高萩、安良川、島名、秋山、北方、石滝)ガソリンポンプ2台、腕用ポンプ7台で、当時の組頭は石平之亟氏であり、その頃の火災出場件数は、昭和7年8回、昭和8年4回であった。
- 3 その後、消防組の組織の活動はたいした変化はみられなかったが、昭和12年(1937年)7月日華事変が勃発し戦争が熾烈化するにつれ、消防組の重要性が次第に認識され、昭和14年消防組は警防団と改編され、組織の拡充が図られ、従来の防火、水防対策にしぼられていた消防活動は、勢い戦争目的遂行のため国策に協力すべく大幅に拡大された。即ち防火、防空、水難救助対策は勿論、自警、避難の誘導、防空壕掘り、出征兵士留守家族の手伝い、勤労奉仕等あらゆる活動を展開するに至った。
- 4 戦後は、昭和22年(1947年)の消防制度の改革により、昭和22年7月高萩町消防団及び高岡村消防団、昭和23年6月松岡町消防団が各発足し、各新しい市町村の消防制度に切り換えられたが、施設等は殆ど戦前の状態であった。
- 5 昭和29年(1954年)11月23日、町村合併により高萩市の誕生をみるに至り、消防組織も高萩市消防団として統合され、当初は3支団、21ヶ分団、団員731名で初代団長は矢代良三氏が就任した。次に、昭和31年4月1日、消防団機構の改革を実施し、支団制を廃して21ヶ分団、団員445名に削減し、第2代団長に沼田吉人氏が就任した。次に昭和32年4月1日、分団統合を行い、8ヶ分団21部制に改編、さらに昭和36年12月1日に分団再編成を行い、3ヶ分団を増設11ヶ分団21部となり、昭和39年4月第3代団長に鳥居塚鉄治氏が就任した。
- 6 昭和41年第4分団、昭和43年第1分団及び第5分団の各消防ポンプ自動車を更新し、消防団の組織 も指揮統制、昭和44年4月1日から21ヶ分団制に改編し、第4代の団長に穂積政次氏が就任した。
- 7 昭和46年第14分団に消防ポンプ自動車を配置した外、日本損害保険協会よりの寄贈による消防ポンプ自動車を第12分団に配置し、市街地より遠隔の地にある山手地域の消防力の機械化を図る第一着手として、国県費補助を得て小型動力ポンプ積載車3台、昭和47年に1台を購入し、第17、第18、第19、第20分団に各配置し、昭和48年度には同じく2台を購入し、この計画の完成を見る等、消防力は画期的な前進を見るに至った。
- 8 消防水利のうち、消火栓の整備は昭和 43 年から昭和 48 年度までに 222 基が完了し、昭和 48 年 4 月 1 日から水道事業開始に伴い使用可能となり、従来の防火貯水槽と合わせて消防水利設置基準の 82% が達成できた。
- 9 消防団の指揮統率上副団長2名を3名に改め、昭和49年4月1日から実施した。
- 10 昭和50年12月10日第9分団に昭和51年12月25日第10、11分団に小型動力ポンプ積載車を配置、全分団の機動化が完了した。
- 11 昭和53年2月18日第8分団積載車老朽のため更新した。
- 12 昭和 54 年 3 月 20 日第 7 分団、第 15 分団の積載車、昭和 54 年 11 月 20 日第 3 分団の消防ポンプ自動車を各々老朽のため更新した。
- 13 昭和55年12月13日第2分団消防ポンプ自動車第6分団小型動力ポンプ積載車を各々老朽のため更新した。
- 14 昭和 57 年 3 月第 9 分団消防詰所兼車庫老朽化に伴い取り壊し新たに鉄骨造り 2 階建延 38.88 ㎡ の車庫兼詰所を新築した。
- 15 昭和57年8月第9分団に配置してある小型動力ポンプ老朽化に伴い更新し、体制の強化を図った。

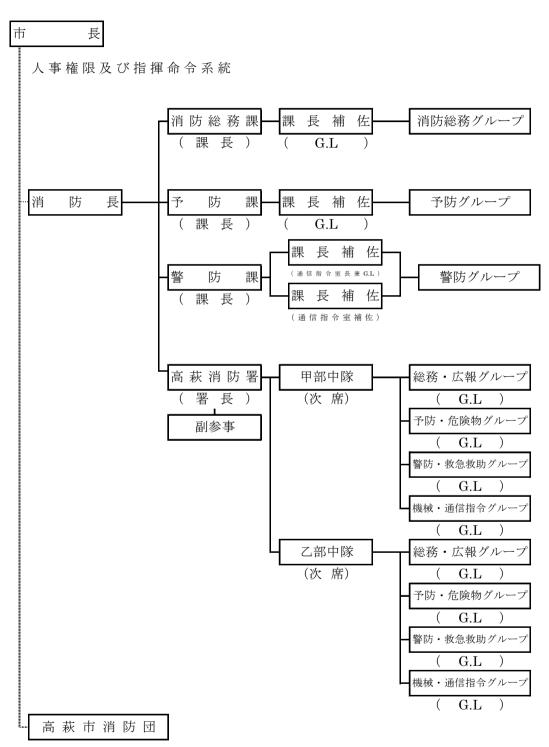
- 16 昭和57年12月第1分団詰所兼車庫老朽化に伴い取り壊し新たに鉄骨造り2階建延59.76 m²の詰所兼車庫を新築した。
- 17 昭和58年3月消防庁長官より優良消防団として表彰旗を受領した。
- 18 昭和58年4月1日副団長豊田恒氏退団に伴い副団長に鈴木彰氏が就任した。
- 19 昭和59年4月1日副団長下山田義郎氏退団に伴い副団長篠原新一郎氏が就任した。
- 20 昭和60年3月29日第19・20・21分団の小型動力ポンプ老朽のため更新した。
- 21 昭和60年4月1日副団長黒尾良氏退団に伴い副団長に大部正氏が就任した。
- 22 昭和61年2月第16分団消防詰所道路拡張工事に伴い移転改築した。ブロック造り平屋建22.93㎡。
- 23 昭和61年3月第5分団消防ポンプ自動車老朽化に伴い更新し消防体制の強化を図った。
- 24 昭和61年8月日本損害保険協会よりの寄贈による消防ポンプ自動車を第4分団に配置し、市街地より遠隔の地にある山手地域の消防力の機械化を図った。
- 25 昭和61年11月第1分団消防ポンプ自動車老朽化に伴い更新し消防体制の強化を図った。
- 26 昭和62年4月1日副団長大部正氏退団により小林高弘氏が就任した。
- 27 昭和62年9月1日副団長小林高弘氏退団により沼田浩氏が就任した
- 28 平成元年 3 月第 19 分団積載車老朽化に伴い水力発電施設周辺地域整備事業で更新し消防体制の強化を図った。
- 29 平成元年4月1日副団長鈴木彰氏退団に伴い鈴木健二氏が就任した。
- 30 平成元年10月第12分団自動車ポンプ老朽化に伴い更新し設備の強化を図った。
- 31 平成元年12月第20分団積載車老朽化に伴い水力発電施設周辺地域整備事業で更新し設備の強化を図った。
- 32 平成元年、平成2年度にわたり第12分団詰所改築並びに外構工事を行い施設の整備を図った。
- 33 平成2年12月第14分団自動車ポンプ老朽化に伴い更新し設備の強化を図った。
- 34 平成3年3月第17分団積載車老朽化に伴い更新し設備の強化を図った。
- 35 平成3年10月第21分団積載車老朽化に伴い水力発電施設周辺地域整備事業で更新し設備の強化を図った。
- 36 平成3年10月第16分団積載車老朽化に伴い防災町づくり事業により更新し設備の強化を図った。
- 37 平成3年10月第16分団(防災町づくり)第21分団(水力発電施設周辺地域整備事業)の積載車を更新し 設備の強化を図った。
- 38 平成4年3月第18分団詰所兼車庫老朽化に伴い木造平屋建延40.32 m³の車庫兼詰所を改築し施設の整備を図った。
- 39 平成5年3月第18分団積載車老朽化に伴い水力発電施設周辺地域整備事業で更新し設備の強化を図った。
- 40 平成5年3月第17分団詰所兼車庫老朽化に伴い木造平屋瓦葺建延50.32 mの車庫兼詰所を改築し施設の整備を図った。
- 41 平成5年11月5日平成5年度茨城県高萩市総合防災訓練を高萩市立君田小学校、君田中学校を会場 に104機関・団体の参加をえて実施した。
- 42 平成6年3月第9分団積載車老朽化に伴い更新し、設備の強化を図った。
- 43 平成7年3月第11分団詰所兼車庫老朽化に伴い木造平屋建延面積50.32 ㎡の赤浜地区コミュニティー消防センターを改築、同時に第11分団積載車老朽化に伴い防災町づくり事業により更新し設備の強化を図った。
- 44 平成7年12月31日団長穂積政次氏退団により第5代団長に篠原新一郎氏が就任した。
- 45 平成8年3月第10分団詰所兼車庫老朽化に伴い木造平屋建延50.07 ㎡の高戸地区コミュニティー防 災センターを改築、同時に第10分団積載車老朽化に伴い防災町づくり事業により更新し設備の強化 を図った。
- 46 平成9年3月第8分団詰所兼車庫老朽化に伴い木造平屋建延面積50.07 ㎡の石滝地区コミュニティー 防災センターを新築、同時に第8分団積載車老朽化に伴い防災町づくり事業により更新し設備の強化 を図った。
- 47 平成9年3月第5分団詰所兼車庫老朽化に伴い、木造2階建延面積70.73 ㎡を水力発電施設周辺地域整備事業により改築し、分団施設の整備を図った。

- 48 消防団の指揮統率上副団長3名を4名に改め、平成9年4月1日から実施、同年4月2日付で、副団長に岩間輝亘氏が就任した。
- 49 平成 10 年 9 月財団法人日本消防協会より小型動力消防ポンプ (B-Ⅱ級) 積載車の寄贈を受け、第 15 分団に配置した。
- 50 平成11年3月第7分団積載車老朽化に伴い更新し、設備の強化を図った。
- 51 平成11年4月副団長鈴木健二氏退団により、鈴木廣美氏が就任した。
- 52 平成 12 年 3 月第 3 分団消防ポンプ自動車老朽化に伴い更新車両(CD-I型)を配備し、設備の強化を図った。
 - 平成12年3月第6分団積載車老朽化に伴い更新し、設備の強化を図った。
- 53 平成12年4月副団長沼田浩氏退団により、大高忠氏が就任した。
- 54 平成 12 年 9 月第 2 分団消防ポンプ自動車老朽化に伴い更新車両(CD-I型)を配備し、設備の強化を図った。
- 55 平成 13 年 4 月第 7 分団詰所兼車庫老朽化に伴い、木造平屋建延面積 51.95 ㎡の秋山下コミュニティー消防センターを新築した。
- 56 平成14年3月第19分団詰所兼車庫老朽化に伴い、木造平屋建延面積50.32 m²の横川コミュニティー 消防センターを新築した。
- 57 平成 15 年 3 月第 4 分団詰所兼車庫老朽化に伴い、木造平屋建延面積 76.18 ㎡の消防団詰所新築
- 58 平成 16 年 6 月第 14 分団詰所兼車庫老朽化に伴い、木造平屋建延面積 65.41 ㎡の消防団詰所新築
- 59 平成17年4月1日団長篠原新一郎氏退団により第6代団長に細金秀隆氏が就任し、副団長に作山吉平氏が就任した。
- 60 平成19年1月第4分団消防ポンプ自動車老朽化に伴い更新車両(CD-I型)を配備し、設備の強化を図った。
- 61 平成20年3月第5分団消防ポンプ自動車老朽化に伴い更新車両(CD-I型)を配備し、設備の強化を図った。
- 62 平成 20 年 5 月第 1 分団消防ポンプ自動車老朽化に伴い更新車両(CD-I型)を配備し、設備の強化を図った。
- 63 平成21年4月1日副団長岩間輝亘氏退団に伴い副団長中村泰治氏が就任した。
- 64 平成21年9月第12分団消防ポンプ自動車老朽化に伴い更新車両(CD-I型)を配備し、設備の強化を図った。
- 65 平成22年2月財団法人日本消防協会より、優良消防団として表彰旗を受領した。
- 66 平成22年2月総務省消防庁より、小型動力消防ポンプ(B-Ⅱ級)付積載車の無償貸し付けを受け第19分団に配備した。
- 67 平成22年4月高萩市初の消防団本部付として、女性消防団員14名が入団した。
- 68 平成22年9月第14分団消防ポンプ自動車老朽化に伴い更新車両(CD-I型)を配備し、設備の強化を図った。
- 69 平成22年12月財団法人日本消防協会より助成を受け、消防団本部に対し軽可搬ポンプ (D-1級) を配備した。
- 70 平成 23 年 2 月財団法人日本消防協会より指令車の寄贈を受け、消防団本部・消防本部共同運用とし 高萩消防署に配備した。
- 71 平成23年12月財団法人自治総合センターコミュニティー助成事業より助成を受け、消防団本部に対し軽可搬ポンプ(D-1級)を配備した。
- 72 平成 25 年 3 月第 3 分団詰所兼車庫、東日本大震災に伴い鉄筋コンクリート造 2 階建延べ面積 120.22 m²の消防団詰所新築
- 73 平成25年4月1日団長細金秀隆氏、副団長鈴木廣美氏、大高忠氏退団により、第7代団長に作山吉平氏、副団長に熊代正明氏、鈴木幸一氏、大森勉氏が就任した。

消防分布図



消防総務



災害時における指揮命令系統(消防組織法第18条第3項)

消防本部・署の分掌事務

_	1			and the same of th	П	1	
			(1)	公印の保管に関すること	II		(1) 文書の収受、発送、整理及び保存に関する
		Ī	(9)	公文書の収受、発送、整理及び保存に関すること	II		ع ح
		Ī			II	総	_ = =
		Ī		条例、規則、規程、告示等に関すること	II		(2) 署員の教養訓練及び服務規律に関すること
			(4)	議案及び議会に関すること		務	(3) 署員の福利厚生及び衛生管理に関すること
	消			消防団に関すること	II		(4) 庁舎及び附属施設の保守管理並びに備品の
		消			II		管理に関すること
		L		予算編成及び予算執行に関すること	II	広	
		防	(7)	物品の調達及び検収に関すること	II	+17	(5) その他他の担当に属さないこと
	防	44	(8)	所管に属する建物及び附属施設の保守管理に関する	II	報	(6) 防火思想の普及広報に関すること
		総			II	2.51	
		74-		28	II	グ	(7)防火相談に関すること
	4/1	務	(9)	組織に関すること	II	.3	(8)消防統計に関すること
	総	ゲ	(10)	職員の任免、賞罰、服務その他身分に関すること	II	ル	(9)消防年報の発行に関すること
		10		職員の研修に関すること	II	Li	(10) 火災予防運動に関すること
		ル			II	Ι'	
	務	1	(12)	職員の福利厚生に関すること	II	プ	(11) その他総務に関すること
	195	1	(13)	職員の公務災害に関すること			(12) その他広報に関すること
		'	, -,	職員の安全衛生委員会及び職員委員会に関すること	II		. , - , , , , , , , , ,
		プ			II		
	課	′	(15)	職員の表彰に関すること	II		(1) 火災予防及び査察に関すること
	W/K		(16)	職員の給与及び旅費に関すること	II	予	(2) 火災の原因調査に関すること
		Ī		被服等の貸与に関すること	II	,	
		Ī			II	防	(3)消防用設備等の検査及び維持管理の指導に
		Ī	(18)	その他職員に関すること	II	•	関すること
		Ī	(19)	その他他の課に属さない事務	II	危	(4) 火災予防組合の指導に関すること
			, -,	- 1-1-	11	険	
		Ī	(1)	防火思想の普及広報に関すること	II	12.	(5) 火災予防条例に関すること
		Ī	(2)	火災予防査察に関すること	II	物	(6) その他予防に関すること
		Ī		火災の原因調査及び損害調査に関すること	II	ゲ	
		Ī			II		(7) 小具在除物の贮養原料を開わるとし
		Ī	(4)	防火管理者の資格を与える講習及び指導に関するこ	II	ル	(7) 少量危険物の貯蔵取扱に関すること
		予		٤	II	1	(8) 指定可燃物に関すること
		l	(E)	火災のり災証明に関すること	II		(9) その他、危険物に関すること
2017	予	防			II	プ	
消			(6)	火災予防条例に関すること	II		
	m !	グ	(7)	建築確認の同意に関すること	II		
	防	Ī		防火対象物の使用届及び消防用設備検査の指導に関	II		(1)消防水利の維持管理に関すること
		ル	(8)		II	荷女	(2)消防資機材の整備保管に関すること
	am.	,		すること	II	警	
防	課		(9)	その他予防全般に関すること	消	防	(3) 諸警備及び警戒に関すること
15/2		0			II	•	(4) 自衛消防隊の指導育成に関すること
		プ		危険物施設等の許認可及び検査指導に関すること	II	救	(5) その他警防に関すること
		Ī	(11)	液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関す	II	急	
		Ī		る法律等に係る意見書に関すること	II		(6) 救急業務に関すること
			(10)		II	救	(7) 救助業務に関すること
本		Ī	` ′	指定可燃物に関すること	防	助	(8) 救急隊の訓練に関すること
/+~		Ī	(13)	その他危険物全般に関すること	II	.,,	
				水火災その他の災害の警戒及び防御に関すること	11	グ	(9) 救助隊の訓練に関すること
		Ī			II	ル	(10) 応急手当普及啓発に関すること
		Ī		警防計画に関すること	II	1	(11) その他、救急及び救助に関すること
		Ī	(3)	消防力の整備指針に関すること	55	1 1	(III) CV/回、3X心及U3X的(C) X (C)
部		Ī	(4)	緊急消防援助隊に関すること	者	プ	
1		Ī	(- /	救助技術の研究及び訓練の指導に関すること	II		
			` ′		II		
1			(6)	諸訓練の安全管理に関すること	II		(1)消防機械の燃料の出納管理に関すること
		Ī	(7)	自衛消防隊の育成指導に関すること	II		(2)機械器具の部品の出納管理に関すること
		Ī		警防に関する統計及び消防年報作成に関すること	II		
		Ī			II		(3)機械器具の維持管理に関すること
		Ī	(9)	その他警防全般に関すること	II		(4)機械器具の操作技術の指導に関すること
		Ī	(10)	消防施設整備に関すること	II		(5) 救急救助資機材の維持管理に関すること
		Ī		消防水利施設の調査、同意及び管理に関すること	II		–
		荷女			II		(6) 車両の安全運転管理に関すること
1	警	警	(12)	消防機械器具の維持管理に関すること	II	機	(7) その他機械器具に関すること
1	言	防	(13)	消防機械の燃料及び機械部品の出納管理に関するこ	II		(8) 気象の測定及び気象情報に関すること
1		la)	/	}	II	械	
		ゲ	/		II	•	(9) 庁舎内外の通信機器の整備保全に関するこ
	防	′		機械器具の操作及び指導に関すること	II	1	کے
	ID)	ル	(15)	車両の安全運行管理に関すること	II	通	- (10) 気象及び通信統計に関すること
		/-		各種災害の通報の受信及び出動指令に関すること	II	1 .	
		1			II	信	(11) その他、通信指令に関すること
	課	'	(17)	通信指令施設の運用及び維持管理に関すること	II	l	
	IV/N	プ	(18)	無線通信事務に関すること	II	指	
		1		災害の情報収集に関すること	II		
		Ī			II	令	
		Ī		火災警報及び気象情報に関すること	II	Ł.N	
		Ī	(21)	救急救助業務の管理及び計画に関すること	II	グ	
		Ī	(99)	救急救助備品及び消耗品の出納管理に関すること	II	fe	
		Ī	` ′		II	ル	
		Ī		救急救助技術の指導、訓練及び教育に関すること	II	1	
		Ī	(24)	応急手当普及啓発に関すること	II	1 '	
		Ī	(25)	救急救助の搬送証明に関すること	II	プ	
		Ī			II	_	
				救急救助医療機関との連絡調整に関すること	II		
		Ī	(27)	救急救助統計及び報告に関すること	II		
		Ī	(28)	メディカルコントロール体制に関すること	II		
		Ī	, -,		II		
1	l	Ì	(29)	その他救急救助全般に関すること	II	1	

1 面積・人口・世帯数

(平成26年4月1日現在)

面積	人口	世帯数
193.58 km²	29,561 人	11,679 世帯

2 市予算と消防予算 (平成 26 年度当初)

(単位:千円)

市予算	消防費	比 率
12,280,000	691,300	6.9 %

3 人口及び1世帯当りの消防費 (平成26年度当初)

消 防 費	一世帯当り	一人当り
(千円)	(円)	(円)
691,300	59,192	23,386

4 消防職員及び消防団員1人当りの人口・世帯 (平成26年4月1日現在)

消防職員	(60 人)	消防団員	(317人)
人口	世帯数	人口	世帯数
492.6 人	194.6 世帯	93.3 人	36.8 世帯

5 消防庁舎の現況

署所別	住 所	建物	構造	面積
		庁 舎	鉄筋コンクリート造 2 階建	1,261.23 m²
消防本部	高萩市東本町	訓練塔	鉄骨造 2 棟 高さ 17m 及び 7m	144.00 m²
高萩消防署	3-11	高圧ガス充填所	鉄筋コンクリート造	10.25 m²
		車庫	鉄筋スレート造	66.80 m²

6 消防現勢

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

職員数	本部・署	消防ポンプ機械等の種別		排気量別	台 数				
		水桶	曹 付	ポ	ンプ	自	動車	7,960cc	2
		水桶	曹 付	ポ	ンプ	自	動車	7,540cc	1
		屈折	はし	, ご ,	付 消	防自	動車	7,410cc	1
		救	助	-	I.	作	車	8,200cc	1
		高	規	格	救	急	車	2,693cc	1
		高	規	格	救	急	車	3,490cc	1
60.1	1本部	高	規	格	救	急	車	3,370cc	1
60 人	1 署	指		4	令		車	2,970cc	1
		予	防	-	查	察	車	2,660cc	1
		広		į	報		車	1,760cc	1
		連	絡]	丰	1	号	1,290cc	1
		連	絡	Ī	丰	2	号	990cc	1
		消	防	j	車	絡	車	1,990cc	1
		マ	イ	ク	口	バ	ス	4,160cc	1

7 消防職員関係

(1)職員の配置状況

(平成27年 3月31日現在)

本部	階級 ほ・署	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
消防		1	l1	7111	Д.	K	<u> </u>	IE.	1
	課長		1						1
消	課長補佐。G.L		1						1
防	消 課長補佐		1						1
総	防 係長			3					3
務	務								
課	G								
									1
-	課長	1	-						1
予防	課長補佐 G.L 予 係長		1	1					1 1
課) 主任			1					1
I I I	G ELL								1
	課長		1						1
警									
防	警 課長補佐 G.L		1						1
課	防課長補佐		1						1
	G								
	小計	2	7	5					14
	署長	1							1
	副参事	1							1
	ア 次席 兼中隊長 マステ		1						1
高	主査 G.L		2	~ (0)					2
萩	保長 (G.L) 主任			5(2)					5 4
消	隊 土口 係員			2	4		4		10
防	次席 兼中隊長		1		-1		-1		1
署	之 主杏 GI.		2						2
	部 係長 (G.L)			5(2)					5
	主任			2					2
	係員			4	5		3		12
	小計	2	6	22	9		7		46
	合計	4	13	27	9		7		60

※G…グループ、G.L…グループリーダー

(2) 職員の定数及び実数

(平成27年3月31日現在)

	,,,,,	•						. , ,		
級区分	階	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防計量	消防士	小 計	その他の職員	合計
定	数			階	級	川な	L			63
実	数	4	13	27	9		7	60		60

(3) 消防吏員の階級及び年齢調

(平成27年3月31日現在)

(0) 1111527													
年令階級	20 歳 以下	21~ 25	26~ 30	31~ 35	36~ 40	41~ 45	46~ 50	51~ 55	56~ 60	計			
消防司令長								1	3	4			
消防司令							4	4	5	13			
消防司令補				4	12	9	2			27			
消防士長			5	4						9			
消防副士長													
消防士	1	5	1							5			
計	1	5	6	8	12	9	6	5	8	60			
構成比(%)	1.6	8.4	10.0	13.3	20.0	15.0	10.0	8.4	13.3	100			

(4)消防吏員の勤続年数調

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

計	5 年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
60	7	4	10	6	16	3	14

(5) 職員技能資格取得調

	階級	消防	消防	消防	消防	消防	消防士	計
資	格	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	1月67 工	ПI
運転	普通	4	13	27	9		7	60
運転免許	大型	4	13	21	8			46
	特殊無線技師	2	3	26	9		7	47
	小型船舶操縦士		4	11				15
	危険物取扱者乙種第1類		1	1	1		1	4
	危険物取扱者乙種第2類		1	1	1			3
	危険物取扱者乙種第3類		1	3	1			5
	危険物取扱者乙種第4類	1	6	11	9		5	32
	危険物取扱者乙種第5類		1	1	1			3
	危険物取扱者乙種第6類		1	1	1			3
	衛生管理者		1					1
	潜水士		3	10	4			17
	アマチュア無線士	1	2					3
	二級ボイラー技士			1				1
7.	小型クレーン		3	18	8			29
その曲	玉掛け		4	20	8			32
他資格	救急救命士	1	4	10				15
1127	BLSインストラクター	1	1	4				6
	JPTEC インストラクター			8				8
	ACLS インストラクター							
	ITLS インストラクター			1	1			2
	特定科学物質等		5	6				11
	予防技術資格者(設 備)			2				2
	予防技術資格者(查 察)		1	2				3
	予防技術資格者 (危険物)		1					1
	着衣泳指導員(プール)			3	3			6
	防災士			1				1
	アーク溶接士		1					1
	16㎜映写技士	1	4					5
	自動車整備士3級		1	1				2

(6) 職員教育実施状況調 (平成26年度)

階 級	消防司令長		防令	消 防司令補		防長	消 防副士長	消防士	計
消防大学校									
救急救命士研修				1					1
指導的立場の救急救命士研修		1							1
初任教育 初任科								2	2
幹部教育 初級幹部科									
幹部教育 中級幹部科									
幹部教育 上級幹部科									
専科教育 特殊災害科				1	1				2
専科教育 火災調査科				1					1
専科教育 予防査察科									
専科教育 危険物科									
専科教育 救助科					1				1
専科教育 警防科				1					1
専科教育 救急科								2	2
特定化学物質作業技能取得									
特別教育 潜水講習会									
特別教育 操法指導者研修会				1	1				2
消防緊急車運転技能者研修					1				1
玉掛技能講習					1				1
小型クレーン運転技能講習					1				1
合 計		1		5	6			4	16

8 消防相互応援協定 (平成27年 3月31日現在)

管内において拡大災害や、境界地域等に発生した災害、及び大規模かつ広域的に発生した災害による被害を最小限に防止するため、消防組織法(昭和22年法律第226号)第39条第2項の規定に基づき、各関係機関と消防相互協定を締結している。

応援協定締結団体

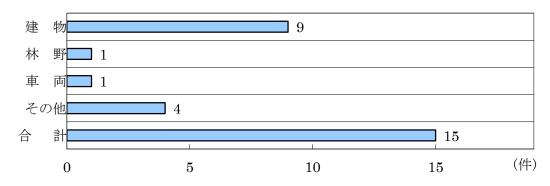
協定名	茨城県広域 消防相互 応援協定	高萩市・ 日立市 消防相互 応援協定	高萩市・ 北茨城市 消防相互 応援協定	高萩市・ 常陸太田市 応援協定	茨城県高速 自動車道等 における消 防相互応援 協定
協定の 対象 区域	茨城県全域	普通…境界 隣接する 区域 特別…管轄 区域全域	同左	同 左	常磐自動車道
災害の種別	水火災又は 地震等の災 害で必要と するもの	火 災 救 急	同左	同左	火 災 救 急
応援の 種 別	相互応援	同左	同 左	同左	相互応援
要請の 方 法	茨城県に 報告のち 電話 その他	電話その他	同 左	同 左	出場消防隊(電話)
応援隊 の指揮 ・命令	発生市町村 等の長	受援側の現場 場 最高指揮者	同 左	同 左	受援側の現場 場 最高指揮者
経費の 負 担 区 分	経常的経費 及び事故等 に関する援 費は応援側 その他は受 援側負担	同 左	同 左	同 左	経常的経費 及び事する経費 に関する援側 その他は受 援側負担
協定の 締結日	平成元年 4月1日締結	平成 20 年 4月1日締結	平成 20 年 4月1日締結	平成 20 年 4月1日締結	平成 19 年 12 月 27 日 締結
協定の 方 法	文 書	同 左	同 左	同 左	同 左

芳 防

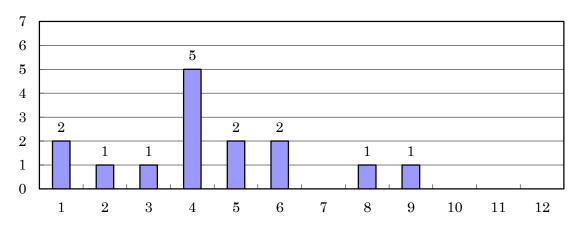
1 火災発生の状況

平成 26 年中に発生した火災は 15 件で、昨年より 1 件の減となりました。 内訳は建物火災 9 件、林野火災 1 件、車両火災 1 件、その他の火災 4 件で月平均 1.25 件の火災が発生したことになります。

(1) 火災件数



(2) 月別火災発生状況

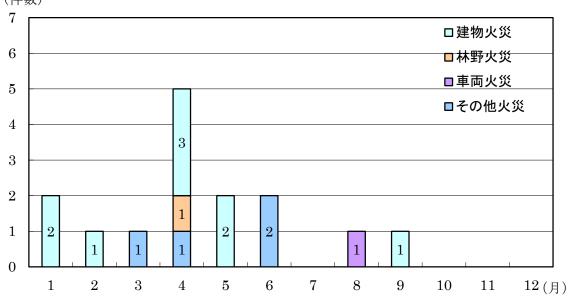


(3) 月別焼損状況

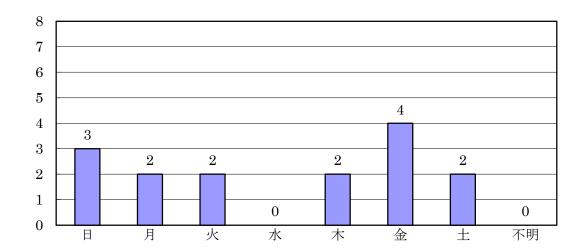
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
建物焼損床 面積(m²)	138	86		826	166								1,216
建物焼損表 面積(㎡)	2												2
林野焼損 面積(a)				8									8
車両焼損 台数								1					1

(4) 月別種別火災発生状況

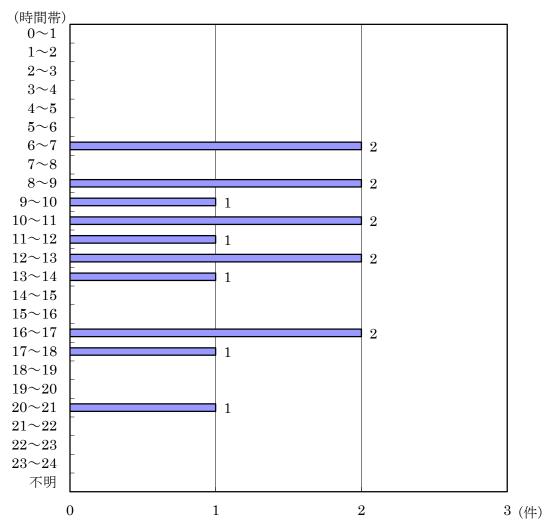
(件数)



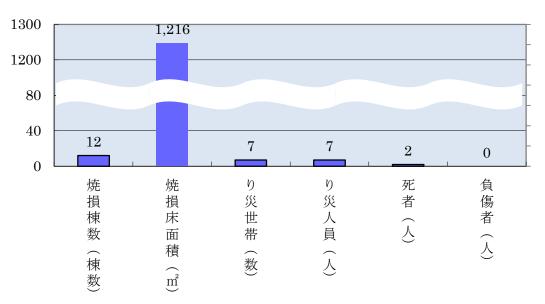
(5) 曜日別火災発生状況



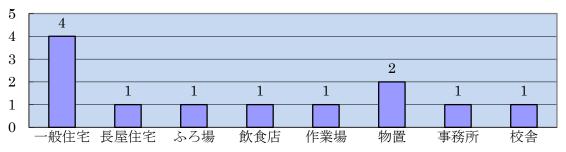
(6) 時間帯別火災発生状況



(7) 建物焼損床面積等



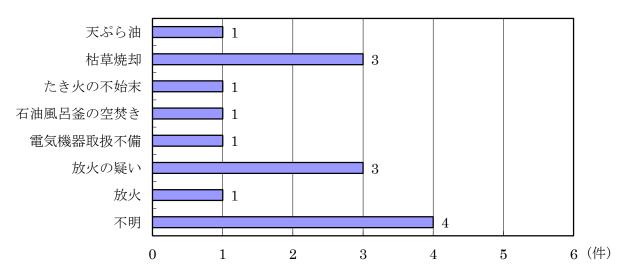
(8) 建物用途別被害状況



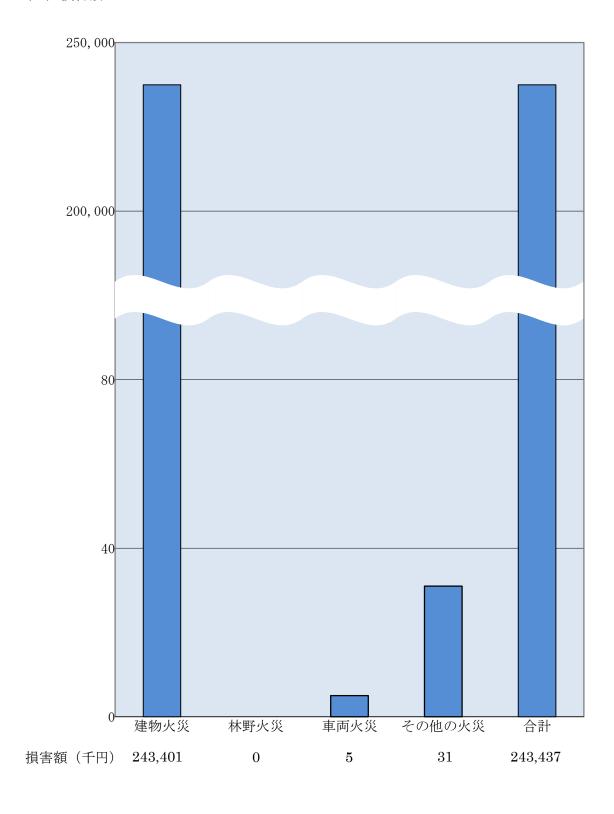
(9)建物用途別損害状況

	一般住宅	長屋住宅	ふろ場	飲食店	作業場	物置	事務所	校舎	合 計
損害額 (千円)	2,860	1,521	11	30,776	1,141	216	206,875	1	243,401
焼損床面積 (㎡)	110	126		229	138	21	592		1,216
焼損表面積 (㎡)								2	2

(10) 主な火災の原因

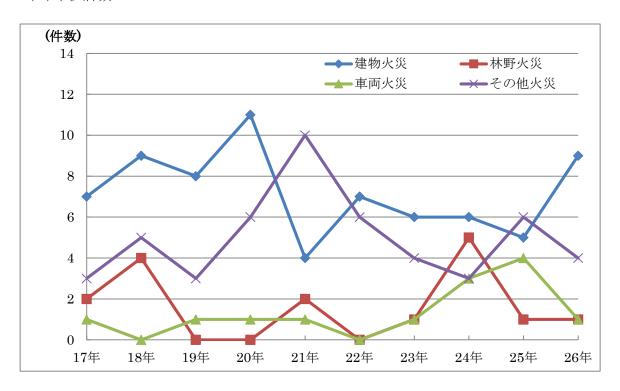


(11) 損害額



2 火災の推移(過去10年間)

(1) 出火件数



(2) 損害額

年別区分	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
火 災 件 数	13	18	12	19	17	13	12	17	16	15
損害額(千円)	15,895	18,677	24,726	42,000	4,493	13,724	36,754	10,791	17,995	243,437
1 件当たりの 損害額(千円)	1,223	1,038	2,061	2,211	264	1,056	3,063	635	1,125	16,229
1 人当たりの 損害額 (円)	472	576	772	1,325	144	444	1,204	357	604	8,318
1 日当たりの 損害額(千円)	44	51	68	115	12	38	101	30	49	667
1世帯当たりの 損害額 (円)	1,270	1,587	2,089	3,535	379	1,152	3,084	926	1,538	20,783

3 防火対象物現況 (150 ㎡以上)

(平成 27年 3月 31日現在)

用途別		棟数							
(1)	イ 劇場、映画館、演芸場、又は観覧場	2							
(1)	口公会堂、集会場	22							
	イ キャバレー、カフェ、ナイトクラブ								
(2)	ロ 遊技場、ダンスホール	10							
(2)	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等								
	ニ カラオケボックス等	1							
(3)	イー待合、料理店	4							
(0)	口飲食店	16							
(4)	百貨店、マーケット、店舗、展示場								
(5)	イ 旅館、ホテル、宿泊所	14							
(0)	口 寄宿舎、下宿、共同住宅	225							
	イ 病院、診療所、助産所	15							
(6)	口 老人短期入所施設等	20							
(0)	ハ 老人ディサービスセンター、保育所等	13							
	二 幼稚園、特別支援学校	5							
(7)	小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学校	55							
(8)	図書館、博物館、美術館	4							
(9)	イ 公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場								
(0)	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場								
(10)	車輌の停車場、船舶又は航空機の発着場	1							
(11)	神社、寺院、教会	6							
(12)	イ 工場、作業所	231							
(12)	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ								
(13)	イ 自動車車庫、駐車場	8							
(13)	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫								
(14)	倉庫	71							
(15)	前各項に該当しない事業所	131							
(10)	イ 特定防火対象物の用途が存する複合用途	43							
(16)	ロ (イ)以外の複合用途防火対象物	15							
(16 Ø) 2)	地下街								
(16 Ø) 3)	準地下街								
(17)	重要文化財、史跡等建造物								
(18)	延長 50m以上のアーケード								
(19)	市町村長の指定する山林								
(20)	総務省令で定める舟車								
計	合 計	972							

4 建築同意月別用途別状況

月別 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 合															
月別 用途別		1 月	月	月	4 月	5 月	b 月	<i>(</i> 月	8 月	9 月	10 月	月	月	合計	
1	イ	劇場等	7.4	7.4	/ •	/ •	,,				/ •			,,	н
	口	集会場等													
	イ	キャバレー等													
2	口	遊技場等													
	ハ	性風俗関連特殊営業 店舗等													
	11	カラオケボックス等													
0	イ	料理店等													
3	П	飲食店													
4		百貨店等									1				1
	イ	旅館等													
5	口	共同住宅等													
	1	病院等													
6	口	老人短期入所施設等												1	1
	ハ	老人ディサービスセ ンター等													
	11	特別支援学校等													
7		学校等													
8		図書館等													
0	イ	蒸気浴場等													
9	П	一般浴場													
10		車両停車場													
11	11 神社等														
10	イ	工場等	1						1			1		1	4
12	П	スタジオ等													
13	イ	車庫等													
	口	特殊格納庫													
14	1	倉庫		1	1										2
15		全各項以外					1	2			1				4
16	イ	特定複合用途													
	口	イ以外の複合用途													
17	17 重要文化財														
専用住宅				3	1		1							5	
その	その他		3	1						1	1				6
合	合 計			2	4	1	1	3	1	1	3	1		2	23
l			l .	L			<u> </u>	L	l	L	L	L		Ь	

5月別建築確認受理件数

区分	新 築		改築		坩	単 築	看	多転	合 計		
月別	件	m²	件	m²	件	m²	件	m²	件	m²	
1	3	1,347.18			1	4,678.61			4	6,025.79	
2	2	446.69							2	446.69	
3	4	877.78							4	877.78	
4	1	99.78							1	99.78	
5					1	20.69			1	20.69	
6	1	92.73			1	19.98			2	112.71	
7					1	300.00			1	300.00	
8											
9	2	170.71			1	1,088.94			3	1,259.65	
10					1	28.16			1	28.16	
11											
12	1	228.55			1	72.34			2	300.89	
計	15	3,263.42			10	6,208.72			21	9,472.14	

危 険 物

1 危険物関係申請及び届出

(平成27年3月31日現在)

危険物申請製造所等設置(変更)許可申 請交付件数		危険物製造所等完成検査済証交付件数		
タンク検査済証交付件数	3	危険物保安監督者選任、解任届出数	22	

2 危険物規制対象調 (完成検査済証交付施設) (平成 27 年 3 月 31 日現在)

液化石油ガス貯蔵開始届出件数	8	少量危険物タンク等検査済証交付件数	0
液化石油ガス意見書交付件数	0	指定可燃物届出件数	3
少量危険物貯蔵取扱所届出件数	3		

3 危険物製造所等一覧表

		Mari		貯		蔵	Ž.	Ī	折		取	ŧ	及	所
	総	製	小	屋	屋	屋	地	簡	移	屋	小	給	販	_
		\		内	外	内	下	易	動	外		油	売	般
		造		貯	タ	タ	タ	タ	タ	貯		取	取	取
製造所等の別		 -		蔵	ン	ン	ン	ン	ン	蔵		扱	扱	扱
2007/11/2/27	計	所		所	ク	ク	ク	ク	ク	所		所	所	所
			計		貯	貯	貯	貯	貯		計			
					蔵	蔵	蔵	蔵	蔵					
					所	所	所	所	所					
合 計	159	9	97	28	47	3	16		1	2	53	17		36

4 類別・危険物製造所等一覧表

事	F j	業 〕	所			5	2				(平成27年3月31日現在)				
			告日		貯 蔵 所					取 扱 所					
		総	製	小	屋	屋	屋出	地	簡	移	屋	小	給	販	_
製造			造		内	外 タ	内 タ	下タ	易 タ	動 タ	外		油	売	般
0	別		Į		貯	ンク	ンク	ンク	ンク	ンク	貯		取	取	取
		計	所		蔵	貯蔵	貯 蔵	貯蔵	貯蔵	貯蔵	蔵		扱	扱	扱
				計	所	所	所	所	所	所	所	計	所	所	所
合	計	159	9	97	28	47	3	16		1	2	53	17		36
	第														
	1 類	1		1	1										
	第														
単	2														
	類														
	第														
	3														
	類第														
	4	149	4	92	23	47	3	16		1	2	5 3	17		36
	類														
	第														
独	5	1		1	1										
	類第														
	第														
	類														
混	在	8	5	3	3										

警 防

1 消防活動状況

(1) 警防活動状況

			事	項	別		口	数	出場人員
		火	災	出	1	場		16	314
1	*			2	K	掛		14	270
	内	j	訳	7	下	掛		1	4
2	片			応援		外		1	40
2	ሥር	`	援	行	掌	内		0	0
3		救	急	<u>H</u>	1	場		1,459	4,445
4		救	助	且	1	場		185	740
5		災	害	且	1	場		8	40
6	怪煙						5	53	
7	そ	誤報				1	11		
8	その他出場	警			戒			7	78
9			捜		曹 難			0	0
10	場		事 故 処 理			!		15	61
11				その	他			17	70
12		蜂		駆		除		152	606
13		警	防	訓	ij	査		29	191
14		防	火	宣	Ĺ	伝		50	109
15	特		別	巷	汝	戒		40	100
16	訓	練	(ポンプ操法	云、規律訓練	東は含まれ	ıない) <u> </u>		137	271
			合	計				2,146	7,403

(2) 消防訓練等指導調

	指 導 内 容	件数	派遣人員	参加人員
1	事業所学校等への消防避難訓練 の指導及び火災予防講話派遣	141 件	272 人	9,078 人
2	婦人消防クラブ指導	0件	0人	0 人
3	見学者に対する広報(職場体験含む)	6件		294 人
4	その他(操法訓練)	41 件	451 人	656 人

2 警防関係申請及び届出

催物開催届出件数	4	水道断水減水届出件数	0
煙火打上げ仕掛け届出件数	25	水素ガス充てんする気球の設置届出 (アドバルーン件数)	0
道路工事届出件数	70	火災とまぎらわしい煙又は火災を発 生するおそれのある行為の届出件数	56
露店等の開設届出書	10		

3 消防水利の現況

区分	容量	公私別	設置数	合 計
防火水そう	40 ㎡以上	公設	52(10)	75(10)
PJDC/N°C J	40 III X L	私設	23	19(10)
24/ 1 I.A. / 1.24 / 1. 24		公設	475	477
消火栓(水道式)		私設	0	475

()内は耐震性防火水そう

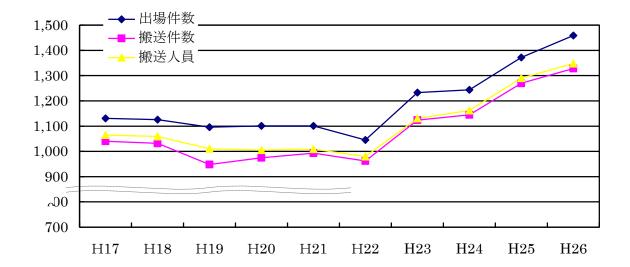
救 急 救 助

1 救急取扱件数

	区	分	出場件数	搬送件数	搬送人員	不搬送
	火災		3			3
	自然災	害				
	水難事	故	1			1
	交通事	故	129	113	133	16
救	労働災	害	14	14	14	
急	運動競	技	8	8	8	
出				172	172	7
場	加害		3	1	1	2
種	自損行	為	12	10	10	2
別	急病		985	888	888	97
		転院搬送	123	122	122	1
	そ の 他	医師搬送				
	他	資機材搬送				
		その他	2			2
	合	計	1,459	1,328	1,348	131

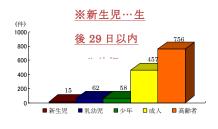
2 救急の推移 (過去 10 年間)

年	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
出場件数	1,131	1,126	1,096	1,101	1,101	1,045	1,233	1,244	1,372	1,459
搬送件数	1,040	1,032	984	975	993	962	1,124	1,145	1,270	1,328
搬送人員	1,065	1,059	1,010	1,005	1,009	980	1,131	1,162	1,290	1,348



3 年齡区分別搬送人員状況

新生児	15 人	1.1%
乳幼児	62 人	4.6%
少 年	58 人	4.3%
成 人	457 人	33.9%
高齢者	756 人	56.1%



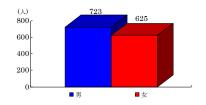
4 傷病程度別搬送人員状況

死 亡	28 人	2.1%
重 症	119 人	8.8%
中等症	500 人	37.1%
軽 症	701 人	52.0%
その他	0 人	0.0%



5 男女別搬送人員状況

男	723 人	53.6%
女	625 人	46.4%



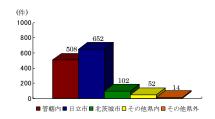
6 発生場所別搬送人員状況

住 宅	829 人	61.5%
公衆出入場所	325 人	24.1%
仕事場	23 人	1.7%
道路	155 人	11.5%
その他	16 人	1.2%



7 管轄内・管轄外搬送件数状況

管 轄	内	508 件	38.2%
目 立	市	652 件	49.1%
北茨城	市	102 件	7.7%
その他県	内	52 件	3.9%
その他県	外	14 件	1.1%



8 応急手当講習会実施状況

並 活 場△業羽△	平成 25 年まで	522 回	11,047 人			
普通救命講習会	平成 26 年中	41 回	920 人			
その他講習会	平成 25 年まで	81 回	2,647 人			
ての他語自云	平成 26 年中	7 回	266 人			

9 救助出場件数状況

	火災	交通事故	水難事故	風水害	機械事故	建物等	ガス酸欠	破裂事故	その他	救急補助	計
出場件数		30	1		1	1			3	149	185
活動件数		15	1		0	1			2	94	113
救助人員		17	1		0	1			2	94	115

機械

1 消防ポンプ機械の現況

高萩消防署

(平成27年3月31日現在)

			消防車両	ポ	ンプ	/#* -
種別	登録番号	朝·年式	性能	型式	級別	備考
水槽付ポンプ 自動車	水戸 800 は 82	日野 2000年	KK-GD1JGDA改 J08C 7,960cc ディーゼルエンジン 定員6名 水1,5000 I-B型 消功無線 ホースカー積載 照明装置150W×4 リアビューモニター	日本機械 二段・ランフ タービン	A-1	無給脂型
水槽付ポンプ 自動車	水戸 88 さ 2535	日野 1997 年	KC-GD1JGBA 改 J08C 7,960 cc ディーゼルエンジン 定員6名 水2,0000 II型 (中型) 消坊無線 エンジン付ホースカー積載 照明装置1KW×2	日本機械 二段/ランプ タービン	A-1	無給脂型
水槽付ポンプ 自動車	水戸 88 す 6902	三菱 1991 年	U-FK417FW改 6D16 7,540cc ディーゼルエンジン 定員7名 水1,500c I-B型 (中型) 消坊無線 ホースカー積載 照明装置1KW×2	日本機械 二段・ランフ タービン	A-1	
屈折はしご付 消防自動車	水戸 88 さ 2227	日野 1995 年	U-FF3HKAA 改 H07D 7,410 c ディーゼルエンジン 定員5名 YO 送気装置 Σ型20m級 リモコンサーチライト500W			
救助工作車	水戸 800 は 322	三菱 2003 年	KK-FK61HGX 改 6M61 8,200 c ディーゼルエンジン 定員6名 II型 消坊無線 ウインチ・クレーン装置 超部田實際装置 発電機 照明装置1KW×2 リアビューモニター			
高規格救急車	水戸 88 に 6621	トヨタ 1998 年	GB-VCH38S 5VZ 3,370 cc ガソリンエンジンフルタイム 4WD AT 定員7名 消防庁認定高規格 消防無線 バックモニター			
高規格救急車	水戸 800 す 2073	日産 2005年	TC-FPWGE50 改 $VQ35$ 3,490 c ガソリンエンジンオールモード4WD AT 定員7名 消防力認定高規格消防無線 バックモニター付ナビゲーションシステム			
高規格救急車	水戸 800 す 6810	トヨタ 2009 年	CBFTRH226S 2TR 2,693 cc ガソリンエンジン フルタイム 4WD AT 定員7名 消防部定高規格 消防無線 DVDナビゲーションシステム & バックガイド モニター			(社)日本損 害邪剣統会寄 贈
指令車	水戸 800 す 7883	三菱 2011 年	$DBA-V93W$ 6G72 2,970 ∞ ガソリンエンジンフルタイム $4WD$ AT 定員 7 名 消防無線 市防災無線 広報装置			日本消防協会寄贈
予防査察車	水戸 88 に 5226	日産 1997 年	KD-KRGE24 TD27 2,660 ccディーゼルエンジン AT定員10名 消防無線 広報装置 リモコンサーチライト2基			
広報車	水戸 500 と 6569	日産 2001 年	GF-WHNY11 QG18 1,760 ∞ ガソリンエンジン AT 定員 5 名 広報装置			日本消防 協会寄贈
連絡車1号	水戸 400 て 5535	トヨタ 2011 年	DBE-NCP50V 2NZ 1,290 ∞ ガソリンエンジン AT 定員5名			
連絡車2号	水戸 533 さ 119	トヨタ 2012 年	DBA-KGC30 1KR 990cc ガソリンエンジン AT 定員5名			トヨタ自動 車株式会社 寄贈
マイクロバス	水戸 200 さ 262	日産 2001年	KK-BVW41 TD42 4,160 cc ディーゼルエンジン AT 定員26名			日本ケミコン(株) 割増
消防連絡車	水戸 501 ゆ 6396	日産 2012 年	DAA-HC26 MR20-SM23 1,990cc ガソリンエンジンAT 定員8名			株式会社 飯塚 電機工業 寄贈

2 特殊器具の状況 (警防・救急・救助器具) (平成 27 年 3 月 31 日現在)

4 竹外的央り小り	(言的、) (本)	$ \mathcal{M}$ \mathcal{M} \mathcal{M} \mathcal{M} \mathcal{M} \mathcal{M} \mathcal{M}
		数量
	人工呼吸器	3
	携行型蘇生器(大人・小児・乳児)	各3
	自動式吸引器	3
	スクープストレッチャー	3
	陰圧式固定器具	3
	喉頭鏡セット	3
救急器具	呼気二酸化炭素検知器	1
	携带用人工呼吸器	1
	自動体外式除細動器(AED)	6
	輸液ポンプ	2
	自動心肺蘇生器	1
	ショックパンツ	1
	バックボード	5
	かぎ付きはしご	3
	三連はしご	3
	ワイヤーはしご	1
	空気式救助マット	1
警防・救助器具	救命索発射銃	1
青奶 教助 奋兵	サーバイバースリング	1
	救助用縛帯	2
	スケットストレッチャー (フル)	1
	スケットストレッチャー (ハーフ)	1
	平担架	1
	ポートパワー	1
	マット型空気ジャッキー式	1
重量物排除用器具	大型油圧スプレッター	1
	テレスコピックラム	1
	可搬ウインチ	3
	エンジンカッター	3
	チェーンソー	3
	エッジカッターチェーンソー	2
切断機	空気鋸	1
	油圧切断機 (スーパーカッター)	1
	大型油圧切断機(ホルマトロカッター)	1
	レシプロソー	1
	携帯用コンクリート破壊器具(ストライカ	
破壊用器具	削岩機	1
102-201 H HH 2 X	ハンマードリル	1
	有毒ガス、酸素濃度、可燃性ガス測定器	2
	一酸化炭素測定器	1
測定用器具	放射能測定器	1
	音響発光式検電器	2
	H E JUJUANIK PUTIT	

一番		1 to 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
呼吸保護用器具			
エアラインマスク 1 空気呼吸器 24 耐電衣 2 耐電手袋 10 双 樹屋長靴 3 足 陽圧式化学防護衣(レベル A 対応) 4 化学防護衣(レベル B・C 対応) 35 携帯警報機 7 放射線線量計(個人用) 5 横索用器具 1 潜水器具一式 6 浮標 1 救難用ボート 1 船外機 1 救命浮環 2 救助者用救命胴衣 12 バスケットストレッチャー 1 ロープ登はん器(ユマール) 4 降下器(エイト環) 2 ガラスカッター 5 セーフティーエアバック 1 ロープガイド 2 救助ロープ保護板・保護カバー 7 ベルトスリング 10 スタティックロープ(100m) 8 ガス滅菌器 1 高圧コンプレッサー 1 高発泡装置 2		1 = 4 / 1	
耐電衣 2 耐電衣 2 耐電ズボン 2 耐電手袋 10 双 耐電長靴 3 足 陽圧式化学防護衣(レベル A 対応) 4 化学防護衣(レベル B・C 対応) 35 携帯警報機 7 次射線線量計(個人用) 5 簡易画像探查機(プロアイ) 1 潜水器具一式 6	门汉怀受川仙兴		1
耐電 ズボン 2 耐電 手袋 10 双 耐電手袋 10 双 耐電手袋 10 双 耐電長靴 3 足 陽圧式化学防護衣(レベル A 対応) 4 化学防護衣(レベル B・C 対応) 35 携帯警報機 7 放射線線量計(個人用) 5 簡易画像探査機(プロアイ) 1 潜水器具一式 6 浮標 1 換罪用ボート 1 船外機 1 投助者用救命胴衣 (PFD) 13 投助者用救命胴衣 12 次スケットストレッチャー 1 ロープ登はん器(ユマール) 4 降下器(エイト環) 2 ガラスカッター 5 セーフティーエアバック 1 ロープガイド 牧助ロープ保護板・保護カバー 7 ベルトスリング スタティックローブ(100m) 8 ガス滅菌器 1 高圧コンプレッサー 高発泡装置 2 2		空気呼吸器	24
耐電手袋 10 双 耐電長靴 3 足 陽圧式化学防護衣(レベル A 対応) 4 化学防護衣(レベル B・C 対応) 35 携帯警報機 7 放射線線量計(個人用) 5 簡易画像探査機(プロアイ) 1 潜水器具一式 6 浮標 1 救難用ボート 1 船外機 1 救命浮環 2 救助者用救命胴衣 (PFD) 13 救命胴衣 12 バスケットストレッチャー 1 ロープ登はん器(ユマール) 4 降下器(エイト環) ガラスカッター 5 セーフディーエアバック 1 ロープガイド 次カティックローブ(100m) 8 ガス滅菌器 1 高発泡装置 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		耐電衣	2
下できる 下できる		耐電ズボン	2
陽圧式化学防護衣(レベル A 対応) 4 化学防護衣(レベル B・C 対応) 35 携帯警報機 7 次射線線量計(個人用) 5 横索用器具 簡易画像探査機(プロアイ) 1 潜水器具一式 6 浮標 1 換難用ボート 1 船外機 2 投物音環 2 投助者用救命胴衣 (PFD) 13 投かに 2 投助者用救命胴衣 (PFD) 13 投かに 3 投かに 4 上で 5 上で 5 上で 5 上で 5 上で 7		耐電手袋	10 双
勝庄式化学防護衣(レベル A 対応) 化学防護衣(レベル B・C 対応) 携帯警報機		耐電長靴	3 足
携帯警報機 7 放射線線量計(個人用) 5 輸易画像探査機(プロアイ) 1 潜水器具一式 6 浮標 1 救難用ボート 1 船外機 2 救助者用救命胴衣 (PFD) 13 救命胴衣 12 バスケットストレッチャー 1 ローブ登はん器(ユマール) 4 降下器(エイト環) 2 ガラスカッター 5 セーフティーエアバック 1 ロープガイド 2 救助ロープ保護板・保護カバー 7 ベルトスリング 10 スタティックロープ(100m) 8 ガス滅菌器 高圧コンプレッサー 1 高発泡装置 2	隊貝用休護具	陽圧式化学防護衣(レベル A 対応)	4
放射線線量計(個人用) 5 簡易画像探査機(プロアイ) 1 潜水器具一式 6 浮標 1 教難用ボート 1 船外機 1 教難用ボート 1 船外機 2 教助者用救命胴衣 (PFD) 13 教命 12 バスケットストレッチャー 1 ロープ登はん器(ユマール) 4 降下器(エイト環) 2 ガラスカッター 5 ゼーフティーエアバック 1 ロープガイド 2 教助ロープ保護板・保護カバー 7 ベルトスリング 10 スタティックロープ(100m) 8 ガス滅菌器 高圧コンプレッサー 高発泡装置 2 1		化学防護衣(レベル B・C 対応)	35
検索用器具簡易画像探査機(プロアイ)1潜水器具一式 浮標 教難用ボート6溶標 教験用ボート1船外機 救命浮環 牧助者用救命胴衣 (PFD) 救命胴衣2救助者用救命胴衣 (PFD) 救命胴衣13バスケットストレッチャー ロープ登はん器(ユマール) 降下器(エイト環) ガラスカッター セーフティーエアバック ロープガイド 救助ロープ保護板・保護カバー ベルトスリング スタティックロープ(100m)2その他の器具ガス滅菌器 高圧コンプレッサー 高発泡装置1		携带警報機	7
潜水器具一式6浮標 救難用ボート1船外機 救命浮環 救助者用救命胴衣 (PFD) 救命胴衣13水の他の救助器具 (山岳救助用器具含む)バスケットストレッチャー ロープ登はん器(ユマール) 降下器(エイト環) ガラスカッター セーフティーエアバック ロープガイド 救助ロープ保護板・保護カバー ベルトスリング スタティックロープ(100m)1その他の器具ガス滅菌器 高圧コンプレッサー 高発泡装置1		放射線線量計(個人用)	5
水難救助用資機材浮標 救難用ボート 船外機 救命浮環 救命胴衣1 2 2 救助者用救命胴衣 (PFD) 13 救命胴衣13 2 12 12 12 12 12 13 12 12 13 14 15 16 17 18 19<	検索用器具	簡易画像探査機(プロアイ)	1
水難救助用資機材牧難用ボート1船外機 救命浮環 救命胴衣2救助者用救命胴衣 (PFD)13救命胴衣12バスケットストレッチャー ロープ登はん器(ユマール) 降下器(エイト環) ガラスカッター セーフティーエアバック ロープガイド 牧助ロープ保護板・保護カバー ベルトスリング スタティックロープ(100m)5その他の器具ガス滅菌器 高圧コンプレッサー 高発泡装置1		潜水器具一式	6
水難救助用資機材船外機 救命浮環 救助者用救命胴衣 (PFD) 救命胴衣13 12その他の救助器具 (山岳救助用器具含む)バスケットストレッチャー ロープ登はん器(ユマール) 体下器(エイト環) グラスカッター セーフティーエアバック ロープガイド 救助ロープ保護板・保護カバー ベルトスリング スタティックロープ(100m)1 10 スタティックロープ(100m) 8その他の器具ガス滅菌器 高圧コンプレッサー 高発泡装置1 1 1 2 2 2 3 3 3 4 5 4 5 4 5 5 4 7 6 7 7 7 7 8 9 9 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 4 5 4 5 4 5 5 7 7 6 7 7 7 7 7 8 9<		浮標	1
救命浮環2救助者用救命胴衣 (PFD)13救命胴衣12バスケットストレッチャー ロープ登はん器(ユマール)1降下器(エイト環)2ガラスカッター セーフティーエアバック ロープガイド 救助ロープ保護板・保護カバー ベルトスリング スタティックロープ(100m)1その他の器具ガス滅菌器 高圧コンプレッサー 高発泡装置1高圧コンプレッサー 高発泡装置1		救難用ボート	1
救助者用救命胴衣 (PFD)13救命胴衣12バスケットストレッチャー ロープ登はん器(ユマール)1降下器(エイト環)2ガラスカッター5セーフティーエアバック ロープガイド1ロープガイド2救助ロープ保護板・保護カバー ベルトスリング スタティックロープ(100m)7ベルトスリング スタティックロープ(100m)10スタティックロープ(100m)8ガス滅菌器 高圧コンプレッサー 高発泡装置1高発泡装置2	水難救助用資機材	船外機	1
救命胴衣12その他の救助器具 (山岳救助用器具含む)バスケットストレッチャー ロープ登はん器(ユマール) 降下器(エイト環) ガラスカッター セーフティーエアバック ロープガイド 牧助ロープ保護板・保護カバー ベルトスリング スタティックロープ(100m)1 10 スタティックロープ(100m) 8 ガス滅菌器 高圧コンプレッサー 高発泡装置		救命浮環	2
その他のおり器具 (山岳救助用器具含む)バスケットストレッチャー ロープ登はん器(ユマール)1 4 降下器(エイト環) ガラスカッター セーフティーエアバック ロープガイド 牧助ロープ保護板・保護カバー ベルトスリング スタティックロープ(100m)1 10 スタティックロープ(100m)その他の器具ガス滅菌器 高圧コンプレッサー 高発泡装置1 1 1 1 2 2 2 3 3 4 5 5 2 4 5 5 5 5 4 7 8 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 8 7 7 8 7 8 7 8 7 8 8 8 7 8 8 8 9 8 8 8 9 8 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 <b< td=""><td></td><td>救助者用救命胴衣 (PFD)</td><td>13</td></b<>		救助者用救命胴衣 (PFD)	13
その他の救助器具 (山岳救助用器具含む)ロープ登はん器(ユマール) 降下器(エイト環) ガラスカッター セーフティーエアバック ロープガイド 牧助ロープ保護板・保護カバー ベルトスリング スタティックロープ(100m)1 10 スタティックロープ(100m) 8 ガス滅菌器 高圧コンプレッサー 高発泡装置		救命胴衣	12
その他の救助器具 (山岳救助用器具含む)第ラスカッター ち セーフティーエアバック ロープガイド 変助ロープ保護板・保護カバー ベルトスリング スタティックロープ(100m)1 10 スタティックロープ(100m) 8 ガス滅菌器 高圧コンプレッサー 高発泡装置			1
その他の救助器具 (山岳救助用器具含む)ガラスカッター セーフティーエアバック ロープガイド 取助ロープ保護板・保護カバー ベルトスリング スタティックロープ(100m)1 10 スタティックロープ(100m)その他の器具ガス滅菌器 高圧コンプレッサー 高発泡装置1 1 2 7 ベルトスリング 10 3 2 2		ロープ登はん器(ユマール)	4
その他の救助器具 (山岳救助用器具含む)セーフティーエアバック ロープガイド 変助ロープ保護板・保護カバー ベルトスリング スタティックロープ(100m)1その他の器具ガス滅菌器 高圧コンプレッサー 高発泡装置1		降下器(エイト環)	2
(山岳救助用器具含む) セーフティーエアハック 1 ロープガイド 2 救助ロープ保護板・保護カバー 7 ベルトスリング 10 スタティックロープ(100m) 8 ガス滅菌器 1 高圧コンプレッサー 1 高発泡装置 2	7 0 14 0 4 11 11 11	ガラスカッター	5
ロープガイド 2 救助ロープ保護板・保護カバー 7 ベルトスリング 10 スタティックロープ(100m) 8 ガス滅菌器 1 高圧コンプレッサー 1 高発泡装置 2	- /	セーフティーエアバック	1
ベルトスリング10スタティックロープ(100m)8ガス滅菌器1高圧コンプレッサー1高発泡装置2	(山苗秋朔用奋共占む)	ロープガイド	2
スタティックロープ(100m)8ガス滅菌器1高圧コンプレッサー1高発泡装置2		救助ロープ保護板・保護カバー	7
ガス滅菌器1高圧コンプレッサー1高発泡装置2		ベルトスリング	10
その他の器具高圧コンプレッサー1高発泡装置2		スタティックロープ(100m)	8
その他の器具 高発泡装置 2			1
高発泡装置 2	この4092月	高圧コンプレッサー	1
耐熱服 5	ての他の番具	高発泡装置	2
		耐熱服	5

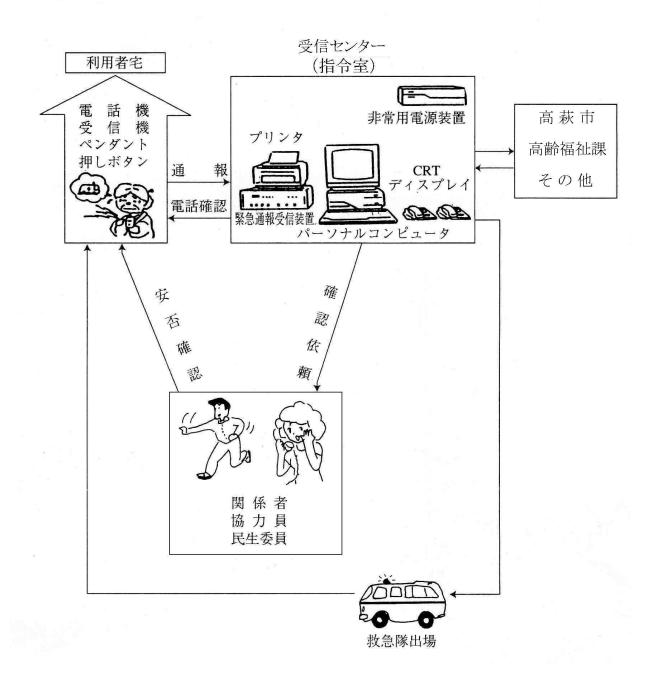
通 信

(平成27年3月31日現在)

1 消防無線局施設調べ

	1		ı				T	T 0 71 01 1 90	
種別局名	呼出名称	周波数	空中線 電力(W)	電波の 形 式	空中線	設置年月	形式	設置場所	
基地局	しょうぼうたかはぎ	5 波	10	F3E	3素子 ハネ	1999/ 3/24 1999/ 3/24 1993/12/20	CM-5556Z 現予 CM-5555Z 現予 EMM-10HF/AVDT	消防本部	
	たかはぎ 1	3 波	10	F3E	ホイップ	1995/12/26	EMM-10HF/AVDT	指令車	丰
	たかはぎ 2	5 波	10	F3E	ホイップ	1996/ 1/31	EMM-10HF/AVDT	高規格救急車	丰
	たかはぎ 3	5 波	10	F3E	ホイップ	2000/ 3/29	CM-5066MT	水槽付ポンプ車	丰
	たかはぎ 4	3 波	10	F3E	ホイップ	1993/ 8/25	EMM-10HF/AVDT	水槽付ポンプ車	丰
	たかはぎ 5	5波	10	F3E	ホイップ	1997/ 3/20	EMM-10HF/AVDT	水槽付ポンプ車	丰
	たかはぎ 6	5波	10	F3E	ホイップ	2009/ 4/ 1	EMM-10MR/AVWT	高規格救急車	丰
	たかはぎ 7	5波	10	F3E	ホイップ	1996/ 6/ 1	EMM-10HF/AVDT	査 察 車	丰
陸	たかはぎ8	3波	10	F3E	ホイップ	1995/ 2/10	EMM-10HF/AVDT	屈折はしご車	丰
,	たかはぎ 9	5波	10	F3E	ホイップ	2003/ 2/20	EMM-10MR/AVDT	救助工作車	丰
	たかはぎ 10	5波	10	F3E	ホイップ	2009/10/14	EMM-10MR/AVWTS	高規格救急車	丰
	たかはぎ101	3波	1	F3E	ホイップ	1993/ 3/19	EMM-01QT/WT	携	昔
上	たかはぎ102	3波	1	F3E	ホイップ	1993/ 3/19	EMM-01QT/WT	携	昔
	たかはぎ103	3 波	1	F3E	ホイップ	1993/ 3/19	EMM-01QT/WT	携	昔
	たかはぎ104	5波	1	F3E	ホイップ	1997/ 7/ 8	CP-5162T	携	昔
移	たかはぎ105	5波	1	F3E	ホイップ	1997/ 3/20	CP-5162T	携	
	たかはぎ106	5波	1	F3E	ホイップ	1991/ 8/16	CP-5067T	携	昔
	たかはぎ107	5波	1	F3E	ホイップ	1991/ 8/16	CP-5162T	携	
動	たかはぎ108	5波	1	F3E	ホイップ	1991/ 8/16	CP-5162T	携	
到)	たかはぎ109	3波	10	F3E	ホイップ	1994/10/17	EMM-10PA/VT	携	昔
	たかはぎ 110	3波	1	F3E	ホイップ	1995/1/18	EMM-01QT/WT	携	昔
	たかはぎ 111	3 波	1	F3E	ホイップ	1995/1/18	EMM-01QT/WT	携	
局	たかはぎ 112	3波	1	F3E	ホイップ	1995/1/18	EMM-01QT/WT	携	芋
	たかはぎ 113	5波	1	F3E	ホイップ	1999/ 3/26	CP-5067T	携	
	たかはぎ 114	5波	5	F3E	ホイップ	2000/ 3/29	CP-5067T	携	
	たかはぎ 115	5波	5	F3E	ホイップ	2007/ 9/ 3	EMM-05FT/WT	携	昔
	たかはぎ 116	5波	5	F3E	ホイップ	2007/ 9/ 3	EMM-05FT/WT	携	
	たかはぎ 117	3波	1	F3E	ホイップ	1995/ 6/23	EMM-01QT/WT	携	
	たかはぎ 118	3波	1	F3E	ホイップ	1995/ 6/23	EMM-01QT/WT	携	
	たかはぎ 119	5波	10	F3E	ホイップ	2009/ 4/ 1	EMM-10PA/VT	携	

2 緊急通報システム系統図



気

1 月別気温・湿度・風向・風速調

種別	复	〔温(℃)		沍	湿度(%)		風速(m/s)			
							最大時	舜間	平均	
月別	最高	最低	平均	最高	最低	平均	風向	風速	風向	風速
1	13.2	-6.3	2.3	98.3	27.8	63.2	西北西	19.4	北北西	2.2
2	14.5	-8.5	2.0	98.6	36.2	68.5	北西	21.9	北北西	2.6
3	18.5	-4.8	6.1	98.4	25.3	69.8	北北西	20.8	北北西	2.5
4	22.2	0.9	10.1	98.1	26.0	71.1	北北西	14.3	北北西	2.2
5	25.8	4.4	15.1	97.9	31.3	79.9	北北東	17.9	南南東	2.3
6	27.7	13.9	18.2	97.4	40.5	91.0	北	12.5	北北東	1.6
7	29.0	15.5	20.7	98.3	60.6	89.4	南南西	15.8	南南東	1.7
8	33.1	15.2	20.8	98.7	54.0	90.4	南南東	14.2	南南東	1.7
9	23.4	8.8	17.1	99.0	51.4	84.2	南南西	13.0	北北西	1.8
10	23.9	2.0	13.5	99.5	35.0	81.8	北北西	24.6	北北西	2.1
11	17.9	-1.1	9.3	99.7	31.7	78.4	北	14.7	北北西	2.0
12	13.6	-7.2	2.3	99.9	30.9	69.4	西北西	19.2	北西	2.1
年間	21.9	2.7	11.5	98.7	37.6	78.1	北北西	24.6		2.1

2 月別雨量(5年間)調

		年	三別降水量(mi	m)	
	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
1月	3.0	8.5	32.0	54.5	21.5
2月	78.5	127.0	103.0	32.5	162.5
3月	133.5	78.0	158.0	48.5	151.0
4月	382.0	167.0	109.0	252.0	169.5
5月	193.5	164.0	271.0	93.0	167.0
6月	233.0	110.5	185.0	123.0	289.5
7月	105.5	215.5	125.0	124.5	161.5
8月	0.5	130.5	23.0	125.5	153.5
9月	274.5	176.0	153.0	109.0	195.0
10月	196.5	180.5	161.0	341.0	257.5
11 月	71.0	76.0	66.0	17.5	74.5
12月	151.5	61.5	71.0	35.0	67.0
計	1,823.0	1,495.0	1,457.0	1,356.0	1870.0

3 月別警報調 (平成 26 年)

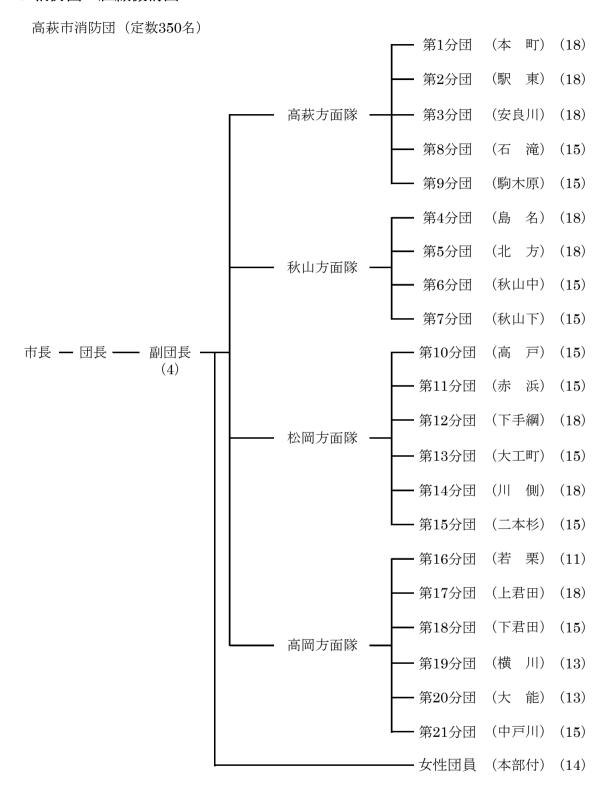
警報和	重別	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
1	大	雨							1						1
2	波	浪		1	1							1			3
3	暴	風		1											1
4	大 雨	洪 水		1		1			1	2					5
5	大 雨	波 浪							1						1
6	大雨洪	水波浪								1					1
7	大雨洪水	、暴風波浪										1			1
8	暴風雪	大雪波浪		1											1
	計			4	1	1			3	3		2			14

4 月別天候調 (平成 26 年)

月別													
天候種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
晴	16	7	10	11	9	3	3	3	1	8	12	21	104
晴くもり	4	6	3	4	7	1	3	2	11	7	7	1	56
晴くもり雨						1		2	1	1	1		6
晴くもり晴	6	2	3	3	1			4	1	1			21
くもり				1	1	2	1	1	1		3	1	11
くもり晴	3	6	3	1	2		3	2	5	1		1	27
くもり雨	1	1	1	1	1	3	1	2		1	3	3	18
くもり晴くもり			2	2	5	11	8	7	5	5			45
くもり雨くもり			3	2	1	2	2	3	1	3		1	18
雨						2				1	2		5
雨くもり	1	2	1	1	2	3	4	1			1	1	17
雨のち晴				1	1		3			1	1	1	8
雨くもり雨			2	3		2	2	3	3	1			16
雨くもり晴			3		1		1	1	1	1			8
くもり雪		3										1	4
くもり雨雪		1											1
計	31	28	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31	365

消防団

1 消防団の組織機構図



2 消防団現勢 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

<u></u>	名	分	寸	数	車 両 数
高萩市消防団		21	個分	团	消防ポンプ自動車 7台 小型動力ポンプ積載車 14台
		1	日本部	#S	軽可搬ポンプ 2台

3 消防団員の定員数と実員数

(平成27年3月31日現在)

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	計
定員数	1	4	21	21	92	211	350
実員数	1	4	21	21	89	180	316

4 消防団員の勤続年数

(平成27年3月31日現在)

5年未満	5年以上 10年未満			20 年以上 25 年未満		30年以上	計
38	70	53	53	57	28	17	316

5 消防団員の年齢

(平成27年3月31日現在)

20 歳	20 歳以上	25 歳以上	30 歳以上	35 歳以上	40 歳以上	45 歳以上	50 歳以上	55 歳	合計	平均
未 満	25 歳未満	30 歳未満	35 歳未満	40 歳未満	45 歳未満	50 歳未満	55 歳未満	以上		年齢
	1	8	46	42	67	65	42	45	316	44.0

6 消防団出場回数調

(平成27年3月31日現在)

分団		火 災	風水害	訓練等	広 報	警 防	特別警戒	捜索	7年 3月3]	計
刀凹	出場回数	4	0	加水寸	2	12	1777711171X 4	り の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	0	26
1	出場人員	30	0	29	9	33	23	0	0	124
	出場回数	4	0	4	3	12	1	0	0	24
2	出場人員	18	0	24	24	24	9	0	0	99
	出場回数	3	0	6	3	8	3	0	0	23
3	出場人員	31	0	58	19	16	22	0	0	146
	出場回数	2	0	5	2	11	2	0	0	22
4	出場人員	12	0	24	13	38	8	0	0	95
	出場回数	4	0	3	1	11	1	0	0	20
5	出場人員	36	0	35	16	26	10	0	0	123
	出場回数	4	0	3	3	12	2	0	0	24
6	出場人員	31	0	22	19	24	19	0	0	115
7	出場回数	3	0	7	3	12	2	0	0	27
7	出場人員	18	0	61	13	24	12	0	0	128
8	出場回数	1	0	3	1	11	2	0	0	18
0	出場人員	6	0	22	4	22	20	0	0	74
9	出場回数	0	0	6	3	8	1	0	0	18
9	出場人員	0	0	19	10	16	8	0	0	53
10	出場回数	0	0	3	2	6	0	0	0	11
10	出場人員	0	0	23	8	12	0	0	0	43
11	出場回数	2	0	5	3	5	1	0	0	16
-11	出場人員	4	0	29	12	10	2	0	0	57
12	出場回数	2	0	5	2	11	1	0	0	21
	出場人員	11	0	62	8	22	4	0	0	107
13	出場回数	0	0	5	3	12	0	0	0	20
	出場人員	0	0	33	16	24	0	0	0	73
14	出場回数	0	0	6	3	12	0	0	0	21
	出場人員	0	0	59	15	24	0	0	0	98
15	出場回数	2	0	4	3	11	1	0	0	21
	出場人員 出場回数	10	0	33	18	24	5	0	0	90
16	出場人員	0	0	6	1	12	0	0	0	19
	出場回数 出場回数	0	0	26 5	$\frac{4}{2}$	$\begin{array}{c} 24 \\ 12 \end{array}$	0 1	0	0	54 20
17	出場人員	0	0	$\frac{5}{52}$	18	$\frac{12}{24}$	8	0	0	102
	出場回数	0	0	6	2	10	2	0	0	20
18	出場人員	0	0	31	15	20	16	0	0	82
	出場回数	0	0	5	2	12	10	0	0	19
19	出場人員	0	0	29	18	$\frac{12}{24}$		0	0	71
	出場回数	1	0	6	1	6	0	0	0	14
20	出場人員	10	0	41	7	10	0	0	0	68
	出場回数	2	0	5	3	12	1	0	0	23
21	出場人員	13	0	46	28	24	2	0	0	113
	出場回数	0	0	4	8	9	0	0	0	21
本部付	出場人員	0	0	25	34	66	0	0	0	125
		34	0	106	56	$\frac{33}{227}$	25	0	0	448
	計	230	0	783	328	531	168	0	0	2,040
Tel 1.4	主笑災宝か				52 0	501	100	3		_,010

風水害等…災害が発生し出動したもの

訓練等…出初式、操法大会、規律訓練、防災訓練など

広報…パレード、かまど検査、火災予防運動など

警防調査…点検、現場検証など 特別警戒…風水害、花火、運動競技、鳥追いなど その他…本部待機、施設監査など

7 消防団ポンプ機械の現況 高萩市消防団

(平成26年 3月 31日現在)

IE1/J/Cili		消		防 車 両	ポン	プ	(1)4/	(26年 3月 31日現住)
所属	種別	登録番号	車種・年式	性能能	型式	級別	購入年月日	備考
第1分団(本町)	消防ポンプ自動車	水戸800 す 6156	いすず 2008年	BDG-NMR85N 2,990cc 水9000 ホースカー積載 定員6名 ディーゼルエンジン	日本機械 二段バランスタービ ン	A-2	H20. 12	無給脂型
第2分団(駅東)	消防ポンプ自動車	水戸800 さ 5451	三 菱 2001年	KK-FE53EB改 5,240cc 水9000 ホースカー積載 定員6名 高圧リール付 ディーゼルエンジン	日本機械 二段バランスタービ ン	B-1	H13. 3	無給脂型
第3分団(安良川)	消防ポンプ自動車	水戸800 さ 2556	日 野 2000年	KK-XZU301E 4,890cc 水9000 ホースカー積載 定員6名 高圧リール付 ディーゼル エンジン	日本機械 二段バランスタービ ン	B-1	H12. 3	無給脂型
第4分団(島名)	消防ポンプ自動車	水戸800 す 4338	いすず 2007年	PB·NKR81N 4,770cc 水9000 ホースカー積載 定員6名 ディーゼルエンジン	日本機械 二段バランスタービ ン	A-2	H19. 1	無給脂型
第5分団(北方)	消防ポンプ自動車	水戸800 す 5516	いすず 2008年	BDG-NMR85N 2,990cc 水900ℓ ホースカー積載 定員6名 ディーゼルエンジン	日本機械 二段バランスタービ ン	A-2	H20. 3	無給脂型
第6分団(秋山中)	小型動力ポンプ積載車	水戸800 さ 2084	日 産 2000年	GB-SK2F23 1,990cc 定員6名 ガソリンエンジン	トーハツ V58ASR	B-3	H12. 2	無給脂型
第7分団(秋山下)	小型動力ポンプ積載車	水戸88 に 9014	日 産 1999年	GB-SK2F23 1,990cc 定員6名 ガソリンエンジン	トーハツ V58ASR	B-3	H11. 3	無給脂型
第8分団(石滝)	小型動力ポンプ積載車	水戸88 す 4674	日 産 1997年	GB-SK2F23 1,990cc 定員6名 ガソリンエンジン	ラビット P-450	B-3	Н9. 3	
第9分団(駒木原)	小型動力ポンプ積載車	水戸88 す 9675	日 産 1994年	T·SJ2F23改 1,620cc 定員6名 ガソリンエンジン	ラビット P-450	B-3	H6. 3	
第10分団(高戸)	小型動力ポンプ積載車	水戸88 に 2683	日 産 1996年	GB-SK2F23 1,990cc 定員6名 ガソリンエンジン	ラビット P-450	B-3	H8. 3	
第11分団(赤浜)	小型動力ポンプ積載車	水戸88 に 869	日 産 1995年	T·SJ2F23改 1,620cc 定員6名 ガソリンエンジン	ラビット P-450	B-3	H7. 3	
第12分団(下手綱)	消防ポンプ自動車	水戸800 す 6696	いすず 2009年	BDG-NMR85N 2,990cc 水900ℓ ホースカー積載 定員6名 ディーゼルエンジン	日本機械 二段バランスタービ ン	A-2	H21.9	無給脂型
第13分団(大工町)	小型動力ポンプ積載車	水戸88 に 6772	日 産 1998年	GB-SK2F23 1,990cc 定員6名 ガソリンエンジン	ラビット P-555	B-3	H10. 3	無給脂型
第14分団(川側)	消防ポンプ自動車	水戸800 す 7510	いすず 2010年	BKG-NMR85N 2,990cc 水900ℓ ホースカー積載 定員6名 ディーゼルエンジン	日本機械 二段バランスタービ ン	A-2	H22. 9	無給脂型
第15分団(二本杉)	小型動力ポンプ積載車	水戸88 す 7819	日 産 1998年	GB-YY101 1,990cc 定員8名 ガソリンエンジン	ラビット P-555	B-2	H10. 9	日本消防協会寄贈 無給脂型
第16分団(若栗)	小型動力ポンプ積載車	水戸88 す 7 698	日 産 1992年	T-UF22改 1,620cc 定員6名 ガソリンエンジン	ラビット P-450	B-3	H4. 2	
第17分団(上君田)	小型動力ポンプ積載車	水戸88 す 6813	日 産 1991年	T-UF22改 1,620cc 定員6名 ガソリンエンジン	ラビット P-450	B-3	H3. 2	
第18分団(下君田)	小型動力ポンプ積載車	水戸88 す 8690	トヨタ 1993年	T-YH81改 1,810cc 定員8名 ガソリンエンジン	ラビット P-450	B-3	H5. 3	
第19分団(横川)	小型動力ポンプ積載車	水戸800 す 7070	日 産 2010年	PDG-SZ5F24 2,950cc 定員6名 ディーゼルエンジン	ラビット P-556	B-2	H22.2	総務省消防庁無償貸付 無給脂型
第20分団(大能)	小型動力ポンプ積載車	水戸88 す 5876	日 産 1989年	L·BF22改 1,590cc 定員6名 ガソリンエンジン	ラビット P-407	B-3	H元. 12	
第21分団(中戸川)	小型動力ポンプ積載車	水戸88 す 7697	日 産 1992年	L·BF22改 1,590cc 定員6名 ガソリンエンジン	ラビット P-450	B-3	H4. 2	

外 郭 团 体

高萩市山林防火普及協会

当市地域の山林面積は、 $157.02 \,\mathrm{k} \,\mathrm{m}^3 \,\mathrm{k} \,\mathrm{c}$ 広大であり、市面積の実に 81.1%を占め、市産業の主たる一翼を担っております。

近年この山林には、秋より春にかけて、焚火の不始末、タバコの投げ捨て、子供の火遊び、火入れ等により火災が多く発生しております。従来、山林火災は、年間 1~2 件にとどまっておりますが、過去には、昭和 41 年に 13 件発生(焼損面積 391.5 a、損害額 500 万円)、昭和 42 年上半期に 9 件発生(焼損面積 410 a、損害額 300 万円)、また、おもな事例として、昭和 14 年には 500 h a を焼失、昭和 33 年に 30 h a を焼失しています。

現在においても、上述と同等、またはそれ以上の山林火災の発生が懸念されております。そこで、山林火災の発生を防ぐため、高萩市消防本部と茨城森林管理署高萩事務所、高萩市森林組合が主体となり、昭和42年8月26日当協会を結成、事業を開始し、現在に至っております。

また、昭和 48 年 11 月 20 日、林野庁長官から森林国営保険事業の発展へ寄与したとして表彰を授与しました。

- 1 会 員 正会員(山林所有者、愛林組合員、部分林組合員) 特別会員(この会の目的及び運営に賛同したもの) 名誉会員(警察署、消防署、森林管理署、農林行政関係者)
- 2 会 費 会員の拠出による
- 3 事業内容 (1) 山林の火災予防の啓蒙宣伝、広報
 - (2) 山林の名所、要所への火気注意、山火事用心横断幕の設置
 - (3) 山林パトロール、火災予防警戒
 - (4) 山林防火監視員の配置と活用
 - (5) 功労者の表彰など
 - (6) 高萩市婦人消防クラブ連絡協議会、緑の少年団育成協議会への協力
- 4 会 長 鈴木 修二

高萩市防火管理者協議会

当管内の防火対象事業所の防火管理者は、各々の事業所の防火管理について努力されているが、最近の火災の現況から小都市の事業所といえども安閑としておれない状況にあることにかんがみ防火管理者が互いに防火管理の技術について研究、情報の交換を行うと共に、消防機関と密接なる連絡を保持することが災害の未然防止及び損害を減少するのに必要であるとの見地から昭和42年4月に当協議会を発足し、事業を開始した。その後、防火管理者資格取得講習会、火災予防運動等を通じて会の進展に努めている。

- 1 会 員 106事業所(平成27年3月31日現在)
- 2 事業内容 (1) 防火管理についての研究、情報交換
 - (2) 防火管理者資格取得講習会・研修会を実施
 - (3) 火災予防運動の協力
 - (4) 各種警報器具、消火器の取扱い、避難誘導についての訓練
 - (5)消防機関との連絡
 - (6) ポスター等の配布
 - (7) 住宅用火災警報器設置促進活動の協力
 - (8) 優良事業所及び優良防火管理者の表彰を行う
 - (9) 先進地の視察研修を行う
 - (10) その他この会の運営に必要な事業を行う
- 3 会 費 会員の拠出による
- 4 会 長 石 忠 (高萩ホテルクレスト)

高萩市危険物安全協会

当会は昭和34年8月11日高萩地方(高萩市及び十王町)危険物安全協会として発足した。その後、消防署の発足した年の昭和40年11月16日、総会を開き県連合会に加入する。 平成16年11月1日高萩市・日立市危険物安全協会と改名、その後旧十王町の脱会により、 平成20年4月1日に高萩市危険物安全協会と改名し今日に至る。

本協会は会員相互の親睦を図ると共に危険物の取扱管理の向上を図り危険物に基因する災害を防止し、事業の円滑なる発展と社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

1 会 員 53事業所

2 予 算 年間 670,000 円 (会員の拠出による。平成 27年3月31日現在)

年間 S1級 31,000 円 S2級 24,000 円

S3級 17,000円

A級 15,000 円 B級 13,000 円

C級 11,000 円 D級 7,000 円

3 事業内容 (1) 危険物の取扱い管理に関する研究

(2) 関係法令の周知徹底

- (3) 危険物に基因する災害予防に関する宣伝及び講習会の開催
- (4) 危険物取扱者のための講習会、講演会等の開催
- (5) 関係図書の購入、頒布及び斡旋
- (6) 会員の弔慰金並びに餞別金に関する事項
- (7) その他本協会の目的を達成するための必要なる事項
- 4 会 長 山口 直樹(高萩商事株式会社)

高萩市婦人消防クラブ連絡協議会

当市は面積が広く、旧高岡村は市の中心部から 13~21km の山間部にある。

昭和 45 年 3 月、地域総出で山林作業中、子供の火遊びにより 41 棟が全焼、7 棟が半焼するという大火が発生し、甚大な被害を受けた。これに鑑み、火災予防と消防技術の練成のため、下記のとおり地区婦人消防クラブを結成し、万一に備え消防機械の取り扱い訓練などを実施している。またこれらが連絡機関として地区正副会長による高萩市婦人消防クラブ連絡協議会を結成した。

市においては、昭和 46 年度から地区婦人消防クラブ(平成 4 年度 現在の高萩市婦人消防クラブ連絡協議会に名称変更)に補助金を出して育成を図っている。

1 クラブ別会員数

(H27年3月31日現在)

	, ,	
名称	設立年月日	会員数
下君田婦人消防クラブ	S46.2.6	30名
上君田婦人消防クラブ	S46.2.14	51名
中戸川婦人消防クラブ	S46.2.13	17名
大能婦人消防クラブ	H 元.4.1	6名
計		104名

※平成22年3月8日付け 横川、若栗婦人消防クラブ 廃部

- 2 活動内容
- (1) 火災や自然災害の時に地域住民の避難補助や救援を行う
- (2) 役員会・総会を実施し事業計画や情報交換を行う
- (3) 各地区において消火器の取扱い、応急手当の訓練を実施
- (4) 視察研修の実施
- (5) 幼年少年婦人防火大会に参加
- (6) 一日消防長防火パレードへの協力
- (7) 高萩市消防出初式に参加
- (8) 小型可搬ポンプ定期点検及び放水訓練の実施

3 会 長 字佐美いつ子